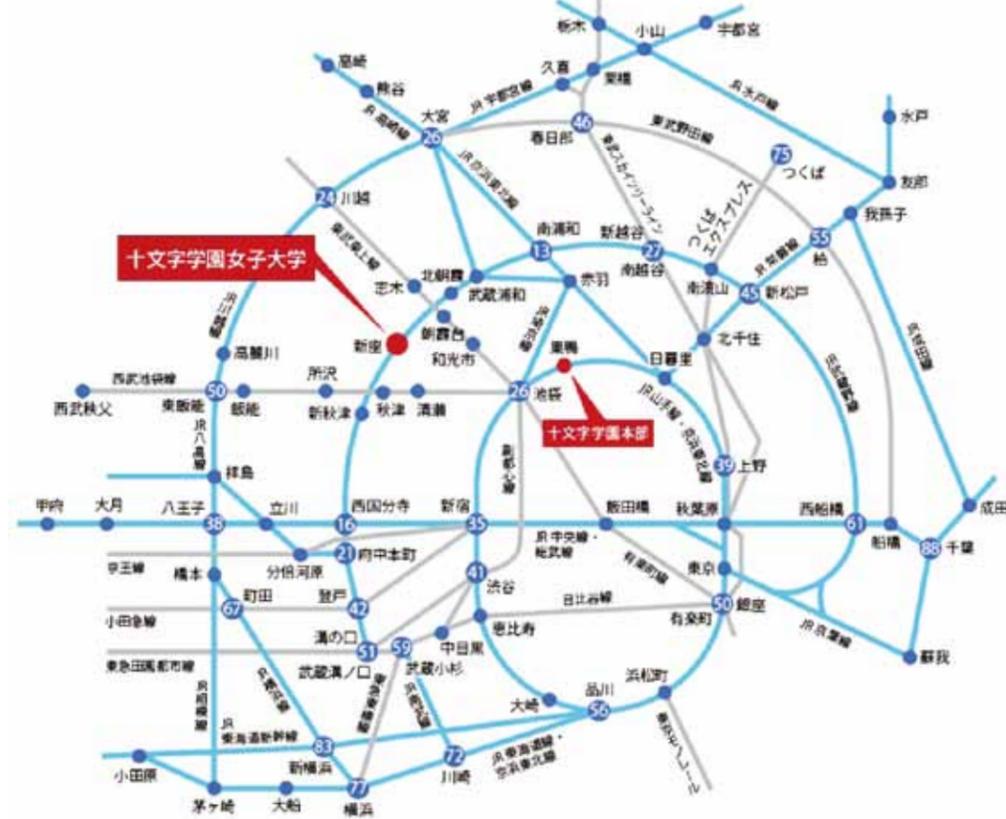


ACCESS



- JR武蔵野線「新座駅」下車、徒歩8分
- 東武東上線「志木駅」下車
「清瀬駅行」バスで「オリエンタル酵母工業前」下車、徒歩5分
- 西武池袋線「清瀬駅」下車
「志木駅行」バスで「オリエンタル酵母工業前」下車、徒歩5分
- 副都心線直通 東武東上線「朝霞台駅」下車、JR武蔵野線「北朝霞駅」より「新座駅」下車、徒歩8分



十文字学園女子大学

地域連携推進課



十文字学園女子大学
イメージキャラクター
「プラスちゃん」

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢 2-1-28 (JR 武蔵野線「新座」駅徒歩 8 分)
TEL.048-477-0555 (代表) 048-477-0958 (直通) <http://www.jumonji-u.ac.jp/>

文部科学省
地(知)の拠点
十文字学園女子大学



～ 地域発展の力となるために、
今できること～

2016

教員ナビ





■ 学長あいさつ

教員の方もお願いします

十文字学園女子大学 学長 横須賀 薫



ここ数年の間に、本学の学生たちが地域に出て活動する機会が格段に増加した。そして地域のみなさんに指導していただき、学生たちはそれぞれがしっかりと成長してきた。うれしいことであり、ありがたいことである。

この頃は、十文字の学生はしっかりといるとか明くて元気などお褒めをいただくことが多くなった。学内でみていると大丈夫かと心配になるが、地域に出ると立派になるらしい。地域のみなさんのご支援とご指導のおかげである。

この冊子は本学教員の専門分野を地域のみなさんに知ってもらうことを目的に編まれたもので、それは教員たちに地域に出てさまざまな活動に取り組んでもらう機会をつくりたいから刊行したものである。

教員も大学や研究室にこもっていても成長しない。地域に出て地域の方々とさまざまに活動を共にする中で成長する。それは学生の場合と変わらない。

何年かしてこの冊子のおかげで、十文字の先生たちは元気がいい、しっかりといるなどという評判が聞けるようになればうれしいことである。

■ 沿革

1922	大正 11	文華高等女学校開校 (設立者 十文字こと、戸野みちゑ、斯波安)	2000	平成 12	十文字学園女子大学社会情報学部 〔コミュニケーション学科〕開設 十文字学園女子大学留学生別科開設
1937	昭和 12	十文字高等女学校に校名改称	2002	平成 14	十文字学園女子大学人間生活学部 〔幼児教育学科・食物栄養学科〕開設 十文字学園女子短期大学を 十文字学園女子大学短期大学部に改称
1951	昭和 26	学校法人十文字学園に組織変更	2003	平成 15	十文字短大附属幼稚園を 十文字女子大附属幼稚園に改称 記念ホール完成
1966	昭和 41	十文字学園女子短期大学開学〔家政科、幼児教育科〕	2004	平成 16	十文字学園女子大学人間生活学部 〔人間福祉学科、人間発達心理学科〕開設
1968	昭和 43	十文字短大附属幼稚園開園	2007	平成 19	人間生活学部幼児教育学科を 児童幼児教育学科に改称、 併せて2専攻〔幼児教育専攻、児童教育専攻〕設置
1973	昭和 48	学科〔初等教育学科、文学科国語国文専攻、 文学科英語英文専攻〕開設	2009	平成 21	10号館完成
1974	昭和 49	家政学科を家政専攻と食物栄養専攻に分離	2010	平成 22	大学院〔人間生活学研究科 食物栄養学専攻〕開設
1976	昭和 51	専攻科〔国文、英文、家政、食物栄養、 幼児教育、初等教育〕開設	2011	平成 23	新〔人間生活学部〕開設
1985	昭和 60	図書館完成	2012	平成 24	短期大学部〔表現文化学科〕開設
1989	平成 元	学科〔教養学科〕開設			
1991	平成 3	専攻科〔教養〕開設			
1992	平成 4	家政学科家政専攻を家政学科生活学専攻に改称			
1996	平成 8	十文字学園女子大学開学 〔社会情報学部社会情報学科〕			

女性の生涯学習と自立を支援する十文字学園女子大学
誰もが持つ「学びたい」に私たちが貢献できること。



設立者 十文字 こと



創立当時の校舎(1922年頃)



戦災前の学校全景(1936年)



短大全景(1975年頃)



教員NAVI 掲載教員一覧(五十音順)

氏名	ページ数	氏名	ページ数	氏名	ページ数
赤間 恵都子	P. 42	川瀬 基寛	P. 39	長田 瑞恵	P. 19
安達 一寿	P. 04	北原 俊一	P. 40	中村 禎子	P. 31
阿部 史	P. 34	木村 靖子	P. 27	名倉 秀子	P. 31
綾井 桜子	P. 04	仇 暁芸	P. 46	西脇 二葉	P. 07
有田 安那	P. 24	金高 有里	P. 27	二瓶 さやか	P. 20
飯田 路佳	P. 49	工藤 貴子	P. 27	野口 隆子	P. 20
池川 繁樹	P. 24	久保田 葉子	P. 49	野島 靖子	P. 20
池田 まさみ	P. 11	栗崎 純一	P. 28	野田 詩織	P. 32
池間 里代子	P. 42	栗原 隆史	P. 40	林 綾子	P. 32
石井 和美	P. 24	栗原 直樹	P. 16	樋口 一貴	P. 44
石川 敬史	P. 42	権 明愛	P. 17	日出間 均	P. 07
石田 有理	P. 14	向後 朋美	P. 46	平田 智秋	P. 50
石野 榮一	P. 38	小林 三智子	P. 28	福田 智雄	P. 21
石山 隆之	P. 49	小林 実	P. 43	福田 仁	P. 08
泉 直子	P. 38	込江 雅彦	P. 34	藤本 正徳	P. 35
井手 隆	P. 25	齋藤 忍	P. 06	布施 晴美	P. 21
伊藤 恵子	P. 11	齋藤 千景	P. 06	古屋 由貴子	P. 08
井上 久美子	P. 25	齋藤 麗子	P. 40	星野 敦子	P. 08
岩井 雄一	P. 04	佐々木 菜穂	P. 28	星野 祐子	P. 47
岩本 珠美	P. 25	佐藤 陽	P. 17	増田 吉史	P. 09
太田 眞智子	P. 14	Sheila Cliffe	P. 44	松岡 敬明	P. 09
大友 由紀子	P. 36	潮谷 恵美	P. 17	松永 修一	P. 47
大西 正行	P. 38	設楽 優子	P. 47	松本 晃子	P. 35
大宮 明子	P. 11	清水 玲子	P. 50	松本 晃裕	P. 32
大山 博幸	P. 14	志村 二三夫	P. 29	宮内 寿彦	P. 21
小笠原 典子	P. 46	新行内 康慈	P. 41	宮川 保之	P. 09
岡上 直子	P. 05	鈴木 晴子	P. 18	宮城 道子	P. 37
岡本 節子	P. 26	鈴木 弘貴	P. 41	宮野 周	P. 51
落合 真裕	P. 43	鈴木 雅子	P. 18	向井 美穂	P. 22
小野 裕次郎	P. 39	鈴木 康弘	P. 18	森田 勝之	P. 48
折口 いづみ	P. 26	須田 有美子	P. 29	安田 哲也	P. 22
風間 文明	P. 12	曾矢 麻理子	P. 29	数崎 伸一郎	P. 51
梶野 涼子	P. 26	高橋 京子	P. 06	山口 由美	P. 22
柏葉 修治	P. 12	高橋 正人	P. 30	山崎 優子	P. 33
片居木 英人	P. 15	田倉 昭	P. 41	山下 倫実	P. 13
加藤 暁子	P. 43	武田 比呂男	P. 44	山田 陽子	P. 23
加藤 則子	P. 15	田中 茂	P. 36	山本 悟	P. 10
加藤 陽子	P. 12	棚谷 祐一	P. 50	山本 茂	P. 33
加藤 順弘	P. 34	田総 恵子	P. 37	横井 紘子	P. 23
加藤 亮介	P. 39	角田 真二	P. 19	吉川 知夫	P. 10
金勝 裕子	P. 05	東畑 開人	P. 13	好本 恵	P. 45
上垣内 伸子	P. 15	徳野 裕子	P. 30	綿井 雅康	P. 13
亀崎 美沙子	P. 16	富井 友子	P. 19	渡邊 孝枝	P. 51
狩野 浩二	P. 05	富山 哲也	P. 07	和田 安代	P. 33
川喜田 昌代	P. 16	長尾 昭彦	P. 30		
川口 英俊	P. 36	長澤 伸江	P. 31		



テーマ一覧

本学教員の研究テーマを10分野に分けてご紹介します。

ジャンル	内容	ページ
01. 教育学	ICT / メディア / 教育思想 / 障害 / 特別支援 / 音楽 / 学校運営 表現活動 / 自閉症 / 養護 / 健康増進 / 国語 / アクティブ・ラーニング 保育施設 / 算数 / 英語 / 作文 / 生涯学習 / 地域連携 / 学校経営 教員養成 / 体育 / コミュニケーション / 肢体不自由	P. 04—10
02. 心理学	反応 / 自閉スペクトラム症 / 発達 / 役割行動 / カウンセリング 不登校 / いじめ / 母親 / こころのケア / 人間関係 / 文章	P. 11—13
03. 子ども学・福祉	知識獲得 / 障がい者 / 自己覚知 / 日本国憲法 / 人権 / 健康 身体発育 / 保育 / 児童虐待 / ボランティア / ソーシャルワーク / 社会 親子 / 絵本 / 性教育 / 運動能力 / ユニバーサルデザイン / 高齢者 メンタリング / 虐待 / 多胎児 / 地域ケア / 介護 / 看護 / 保健 非言語情報 / ケアマネジメント / 遊び / メディアリテラシー	P. 14—23
04. 食・栄養	生理機能 / 身体組成 / 雑穀 / 脂質代謝 / 食育 / 食事療法 / 介護食 香気特性 / 食卵 / 嗜好性 / 生活習慣病 / 調理科学 / 食塩量 / おから たんぱく質 / 味覚感受性 / ハーブサプリメント / 栄養評価 / 薬物 / 食品 安全 / 地域野菜 / スポーツ医学 / 健康 / QOL / 難消化性糖質 / 給食 含油率 / 心臓リハビリテーション / 健康食品 / 消化器疾患	P. 24—33
05. 経済学・経営学	金融法 / 消費者法 / 簿記 / 経済政策 / ビジネスモデル / 経営課題 マーケティング / 品質管理	P. 34—35
06. 社会学	ライフスタイル / キャリア形成 / 選挙 / 民主主義 / メディア 安全と健康 / 男女共同産学	P. 36—37
07. メディア・情報・自然科学・医療	NIE / コミュニティ作り / ジャーナリズム / データ分析 / PBL メディアリテラシー / 計算機実験 / GIS / 健康管理 / 性能評価 ネットワーク / 小児保健 / 喫煙対策 / 健康教育	P. 38—41
08. 文・化学	枕草子 / 日中文化交流 / 中国文学 / 図書館 / 英文学 ユーモアと笑い / 舞台芸術 / 宝塚 / ロシア文学 / 翻訳文学 / 着物 ファッション / 日本古代文学 / 説話文学 / 口承文芸 / 民俗学 日本美術史 / 音声表現 / コミュニケーション	P. 42—45
09. 言語学	日本語 / 中国語 / ことば / 英語 / コミュニケーション / 方言 ニューロン	P. 46—48
10. 芸術・健康スポーツ	ダンス / スポーツビジネス / オリンピック / ピアノ / 音楽 アウトリーチ / リズムあそび / ミュージカル / 宝塚 / 作曲・編曲 音楽制作 / 知覚 / 美術教育 / 声楽 / 子どもの音楽 / 身体表現 舞踏教育	P. 49—51

あだち かずひさ
安達 一寿

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授／副学長 兼 学長補佐

専門分野 教育工学、教育情報学、教育方法学、ICT 活用、メディア活用



活動の概要

【担当科目】「生活とメディア」生活や社会に浸透しているメディアに関して、その特徴を理解し、上手に利活用するための知識や技術を学ぶ。
「プレゼンテーション技法」効果的な情報伝達の方法を学ぶ。併せて、情報活用・問題解決の基本技法について学ぶ。
【研究内容】学校教育現場での情報教育の在り方、ICTを活用した効果的な教育方法と授業設計、アクティブラーニング等と学習者の能力育成の関係や評価。

地域連携・社会貢献活動

本学 地域連携推進機構 地域教育開発部門長 / 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) (宇都宮大学) 円卓会議委員 / 教員研修センター 新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト企画委員会 委員 等

具体的な活動

本学COC事業の推進にあたり、地域志向教育プログラムの企画・開発、学生活動のイベント企画等にあっている。

あやい さくらこ
綾井 桜子

人間生活学部 児童教育学科 准教授

専門分野 教育の思想と歴史



活動の概要

【担当科目】「教育学概論」「道徳教育」等
【研究内容】私たちの教育観や教育の仕組みが欧米から多くの影響を受けて成り立っていることに着目し、ヨーロッパ、特にフランスの教育観や教育思想を近現代の思潮や社会の変化も含めて調べています(特に、教養形成と教育)。また、道徳教育について理論・実践の両面から取り組んでいます。

〔共著〕『教育思想史で読む現代教育』(勁草書房 2013年)、『言語と教育をめぐる思想史』(勁草書房 2013年)、『フランス教育における伝統と革新』(大学教育出版 2009年)

いらい ゆういち
岩井 雄一

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野 特別支援教育、知的障害教育



活動の概要

特別支援学校教諭免許取得にかかる授業を担当している。また、特別支援教育に関するボランティア活動や研究について指導している。
特別支援教育の体制整備及びインクルーシブ教育システムの推進に関する研究、知的障害教育における学力問題などを研究テーマとしている。
地元世田谷区における知的障害者福祉施設を運営している社会福祉法人にかかわりを持ち、仕事をしている。

地域連携・社会貢献活動

朝霞市就学支援委員会委員長 / 文部科学省学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議委員
都立特別支援学校学校運営連絡協議会委員 / 埼玉県立特別支援学校学校評議員

具体的な活動

特別支援学校、特別支援学級等の特別支援教育に関する研究会の講師、特別支援教育に関する教員の研修会講師、特別支援教育に関する一般の理解啓発を図るための講演会講師等を行っている。また、特別支援学校の学校評議員会委員として学校運営等への意見を述べている。

おかのうえ なおこ
岡上 直子

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野 幼児教育



活動の概要

【担当科目】「教育方法」「保育内容総論」「幼児理解の理論と方法」「保育内容の指導法(健康)」「教職実践演習」「教育実習」等
【研究内容】幼児期の協同性の育ちに関する研究、幼児の学びを保障する環境の構成、幼稚園における学校評価等
文部科学省の委託を受けて、幼稚園・保育所の教職員と協働し、実践に基づく研究を行い、成果を文部科学省に報告し、公表しています。

地域連携・社会貢献活動

公益社団法人全国幼児教育研究協会(理事長) / (文科省) 幼児教育に関する調査研究拠点の整備に向けた検討会議委員 / 東京都私立幼稚園連合会 / 免許更新講習講師 / 群馬県、大阪府、台東区、習志野市等、全国各地の幼児教育研修会講師

具体的な活動

毎年、幼児教育に関する研究大会(平成27年度は北海道、参加者約500名)や教育経営研修会(同、熊本、約250名)を開催し、文部科学省からの最新情報の提供や各地の教育実践発表・提案を受け、研究協議を行っています。研修会の講演では、各地区の課題に対応し、幼児期の学びの特性に応じた保育の在り方について解説します。

かねかつ ひろこ
金勝 裕子

人間生活学部 幼児教育学科 教授 / 学科長

専門分野 音楽教育学、日本音楽教育史、邦楽文化、ピアノ 等



活動の概要

【担当科目】「児童音楽文化論」
幼児音楽、唱歌などの歴史的研究から、今後の子どもの音楽教育を考えていく。
【研究内容】洋楽と邦楽の両観点から音楽と生きるということはどういうことかということを考えていく。日本の音楽教育の在り方を追求する。

地域連携・社会貢献活動

施設・病院などでの演奏活動を多くこなしている。
季節に合った音楽をピアノ演奏、邦楽演奏などを通して提供し、心の豊かになるよう援助活動をしている。

具体的な活動

〔邦楽演奏活動〕清瀬三曲連盟所属。箏・三絃・尺八演奏による演奏活動。
アンサンブル「奏」所属。本格的な邦楽演奏会を開催。

かりの こうじ
狩野 浩二

人間生活学部 児童教育学科 教授 / 学科長

専門分野 教員の養成や研修、学校運営の改善、表現活動の指導 等



活動の概要

【担当科目】「表現活動(基礎)」歌唱、朗読、身体表現に関する教材を使って、子どもをいきいきとさせる方法を学びます。
「教育学概論」教える、学ぶことの意味や歴史について学びます。
【研究内容】「授業を核とする学校づくり」授業や表現活動の充実によって、子どもの学力を高める教育実践を研究しています。
「斎藤喜博研究」斎藤喜博が行ってきた授業研究や学校づくりについて研究しています。

地域連携・社会貢献活動

【地域との共同研究】埼玉県比企郡小川町腰越地区の腰上で、地域を活性化する方法について勉強しています。
【学校支援】沖縄県沖縄市立泡瀬小学校、埼玉県志木市立宗岡第二小学校、埼玉県和光市立第三小学校の学校づくりに協力しています。

具体的な活動

学校で行われている授業研究のお手伝いをします。授業の最中に学び合う「介入授業」を指導します。
【表現活動への支援】歌唱や朗読、身体表現などの指導について、具体的にアドバイスします。
【地域活動への支援】中山間地域などの振興について、学生と一緒に考え、ともに活動します。



総合表現「利根川」を
発表する学生たち【沖縄・泡瀬小】

さいとう しのぶ
齋藤 忍

人間生活学部 児童教育学科 准教授

専門分野 特別支援教育、発達障害教育



活動の概要

- 【担当科目】「特別支援教育概論」「特別支援教育指導法」「知的障害教育概論」等
 【研究内容】・LD・ADHD児等、多様な学びを支える支援に関する研究
 ・自閉症スペクトラム児へのソーシャル・スキル・トレーニングに関する研究
 ・地域支援ネットワークの構築に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- ・新座市就学支援委員会委員
- ・新座市教育相談センター巡回相談員

とみやま てつや
富山 哲也

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野 国語科教育（小学校、中学校）



活動の概要

- 【担当科目】「初等国語科教育」「授業研究」「国語」「読書と豊かな人間性」「生徒指導」他
 【研究内容】・小学校・中学校国語科の指導と評価についての実践的な研究
 ・言語活動の充実、アクティブ・ラーニングなど、学力向上と学習指導に関する研究
 ・絵本に関する研究等

地域連携・社会貢献活動

新座市学校評価第三者評価委員 / 新座市国語主任研修会講師 / 新座市子ども暗唱・弁論大会審査員
 清瀬市公立学校学力向上戦略会議（座長） / 新座市、和光市、志木市、東京都府中市の小学校における校内研修（国語）講師等

具体的な活動

- ・新座市国語主任研修会においては、研究授業の事前検討会から参加し、児童が主体的に学習する授業づくりについて一緒に考えました。研究授業当日は、本学の学生も多数参観させていただきました。
- ・清瀬市公立学校学力向上戦略会議では、清瀬市の子供に求められる学力、それを育成するための方策について協議してきました。結果を、教育長に答申しました。

さいとう ちかげ
齋藤 千景

人間生活学部 人間発達心理学科 准教授

専門分野 学校保健、養護学



活動の概要

- 【担当科目】「養護概説」「健康相談活動」「子どもの生活と保健」
 【研究内容】・養護学の学問体系に関する研究
 ・養護実習に関する研究
 ・養護教諭の資質を高めるための方策についての研究（ケースメソッド教育の効果に関する研究）

地域連携・社会貢献活動

ケースメソッド教育を用いて行う研修を教員、養護教諭、コメディカルを対象に実施
 放課後児童指導員認定資格研修講師

にしわき ふたば
西脇 二葉

人間生活学部 幼児教育学科 有期助手

専門分野 保育史、生涯教育



活動の概要

保育施設の原理を歴史的に考察している。

たかはし きょうこ
高橋 京子

人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 健康増進論、保健体育科教育学



活動の概要

- 【担当科目】「体育原理」「保健体育科教育法」
 【研究内容】・健康寿命の延伸は、超高齢社会を迎えたわが国において重要な意味をもつ。社会体育、学校体育の分野でどのようにこの国を支えていくかを考え、行動している。
 ・小中一貫、コミュニティスクールの展開は、学校教育の充実と地域コミュニティの構築のため、実現すべき課題である。具体的な手法を広めることを使命と考えている。

地域連携・社会貢献活動

- ・さつまいもプロジェクト、ダンスパフォーマンスなどの学生の社会貢献活動の指導。
- ・地域のシニア世代の方々を対象としたシニア健康教室の開催。
- ・小中一貫、コミュニティスクールについて、講演、実施に向けた指導助言。



新座市収穫祭に出店。雨模様のお天気にもかかわらず売。

具体的な活動

平成23年、さつまいもプロジェクトが始まった。新座市の特産品を目指して生産を始めた芋焼酎「指月喝」の材料となるさつまいもの栽培に協力することで、さつまいも50kgをいただける。そのさつまいもでお菓子を作り、新座市のイベントで販売し、その収益を東北支援につなげてきた。「おいしかったよ」「よく頑張るね」励ましの声が学生たちに元気と勇気を与えてきた。地域の方々に支えられ、さつまいもプロジェクトは6年目を迎える。

ひでま ひとし
日出間 均

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野 算数科教育学（小学校算数科の授業づくりに関連した研究）



活動の概要

- 【担当科目】「初等算数科教育」「算数」「授業研究」「教職入門」「教職基礎演習」
 【研究内容】・小学校算数授業の指導法・指導技術・教材開発についての研究
 ・小学校現職教員の研修プログラムの確立についての研究
 ・算数科における問題解決学習の在り方についての研究

地域連携・社会貢献活動

- ・清瀬市立清明小学校算数科授業研究（2016～2017年）
- ・指導講師及び学校外向けの研究発表会の企画運営指導【COC事業（2015年度）】
- ・地域志向教育推進「小学校現職教員における授業力向上研修プログラムの確立と教員養成カリキュラムの融合」

具体的な活動

COC事業「新座市立野寺小学校現職教育プラン」の実施
 野寺小学校と合同で現職教員の研修プログラムの在り方を探っている。算数科と体育科を中核にして、授業実践力及び教材研究に関する資質を向上させる研修を企画し、実施している。小学校教員を志望する学生も適宜研修に参加し、体験的に研修の在り方を学び、意識改革を図る。

ふくだ ひとし
福田 仁

人間生活学部 語学教育セクター 教授 / セクター長

専門分野 英語教育



活動の概要

【担当科目】「英語I」「アドバンスト・リーディング」「アドバンスト・リスニング」「インターネット英語」「異文化理解」等。「インターネット英語」では、ネット上で利用可能な英語学習サイトやスマートフォンアプリなどを紹介し、自律的な学習習慣を身につけることを目標としています。

【研究内容】小学校英語教育、外国語の習得などに関すること

地域連携・社会貢献活動

特定非営利活動法人「小学校英語指導者協議会」のトレーナー検定委員として、検定試験の審査に関わってきました。また、社会人を対象にした小学校英語指導者養成講座を企画・運営してきました。

ふるや ゆきこ
古屋 由貴子

人間生活学部 児童教育学科 有期助手

専門分野 教育心理学、教育工学、作文指導、文章産出



活動の概要

「上手に作文を書けるようになるには、どのような指導や方法を取ったらいいか」といった内容について、教育心理学的な観点から研究を進めている。特に、状況や出来事について説明する「状況説明文」をメインに扱っている。修士論文では、「状況説明文の記述と評価の関連性の検討」という題目で、文章の記述だけでなく評価の観点からもわかりやすさ向上のための方法を検討するという研究を行った。

ほしの あつこ
星野 敦子

人間生活学部 児童教育学科 教授 / 地域連携推進機構 副機構長

専門分野 教育評価、生涯学習、地域連携



活動の概要

【担当科目】「生涯学習概論」「学校制度論」「教育方法」「地域で学ぶ」「埼玉の地理・歴史・文化」等

【研究内容】地域連携活動を核に生涯教育制度やボランティアの効果、町おこしについての研究を進めている。

地域連携・社会貢献活動

「ふるさと緑と野火止用水を育む会」の創設 / 石巻支援活動（経済産業省草の根NPO等支援活動）
彩の国ふるさと支援隊（中山間支援 神川町 阿久原地区） / 商店会支援活動 / 緑のバトン運動（被災地緑化）
ネパール学校支援活動 等



被災したネパールの小学校に制服を届けています

具体的な活動

学生ボランティアサークル「ゾウキリンくらぶ」を設立し、メンバーとともに地域の皆様との連携活動を展開中。近年は新座ふるさと商店会や商工会青年部との連携も進んでいる。

ますだ よしふみ
増田 吉史

人間生活学部 児童教育学科 教授 / 副学長(教育担当)

専門分野 小学校教育、学校経営、学級経営、算数科指導法、教育課程、教材研究法



活動の概要

【担当科目】「算数」「初等算数科指導」「教職実践演習」「教職演習」

【研究内容】教科教育と学級経営

地域連携・社会貢献活動

- ・埼玉県：新座市、朝霞市、志木市の小学校研究の支援。
- ・東京都：三鷹市、調布市、東大和市、青梅市等の小学校研究の支援。
- ・小学校算数教科書の編集、指導書の執筆。
- ・新算数教育研究会本部役員。同月刊誌執筆。
- ・明治図書、東洋館出版の算数科、学校課題の執筆



活動写真

具体的な活動

小学校、地教委の研修支援

まつおか たかあき
松岡 敬明

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野 英語教育、教育行政、学校経営



活動の概要

【担当科目】「英語科教育法」「教職入門」「道徳教育・特別活動論」等

【研究内容】・専門的に英語指導ができる教員養成
・英語を通じたコミュニケーション能力の育成
・小学校外国語活動の効果的な指導法

地域連携・社会貢献活動

- ・地域支援ボランティアサークル「ゾウキリンくらぶ」
- ・ふるさと緑と野火止用水を育む会
- ・第8期中央教育審議会臨時委員
- ・英語教育強化地域拠点事業（武蔵村山市）運営指導委員
- ・全日本中学校長会顧問
- ・日本中学校体育連盟参与

具体的な活動

- ・地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）の推進
- ・小学校における外国語（英語）の教科化を見据え、英語教育における専門性を有する教員の養成

みやかわ やすゆき
宮川 保之

人間生活学部 児童教育学科 教授 / 教職課程センター長

専門分野 幼児教育や義務教育の制度、教員養成・育成の内容と方法、教育内容・方法



活動の概要

【担当科目】「保育制度・保育政策論」「初等理科教育」「教育原理・教育制度」「教育課程論」等
授業は、反転学習や集団討議法等の創造性開発をねらいとした内容・方法で構成し、学生が思考力や表現力を高め、基礎となる知識・技能を修得するとともに、主体的に問題解決していく講義・演習を主として実践。

【研究内容】①就学前教育 ②教員養成・育成 ③都市再生 ④人権教育 ⑤理科教育
①就学前教育と義務教育のカリキュラムや教育内容・方法の改善とその普及 ②本学と連携する基礎的自治体と共同による教員養成・教員研修（育成）の改善とその普及 ③基礎的自治体の「まちづくり」や生活困窮者支援等の具体的方策に関する実際とその普及 ④意識下にある偏見や個々人の自己評価（自己概念の形成）と自己肯定感等の課題解決に係る研究とその成果の普及 ⑤理科教育を基本としての科学的な見方考え方を育成する学習指導や授業デザインに関する実践的研究と普及

地域連携・社会貢献活動

「東日本大震災」被災地支援活動（宮城県、福島県） / 「まちづくり事業体」等の展開に係る基礎的自治体の取組みに参与 / 基礎的自治体の教育委員 / 基礎的自治体の事務事業評価委員 / 基礎的自治体における「いじめ問題専門家会議」委員 / 基礎的自治体における生活困窮者支援事業への参与 / 公私立小中高等学校における教育研究研修等の支援

具体的な活動

- ・学生とともに汗を流して義援金を生み出し、これを被災地に届けたり、被災地に向いて復旧のためのボランティア活動を行っている。
- ・民生費の増大に伴う基礎的自治体の財政問題の解決を目指した「まちづくり事業体」等の創生を目指した取組みに参与している。
- ・就学前教育や義務教育等の推進に係る運営に参与し、教育水準の向上させるための提案や、学校等を訪問し、助言などの取組を行っている。
- ・基礎的自治体における「いじめ問題専門家会議」委員など、学校教育等の課題解決や幼児児童生徒の健全育成に係る助言などの取組を行っている。

やまもと さとる

山本 悟

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野 体育科教育学 (小学校体育科の授業づくりに関連した研究)



活動の概要

【担当科目】「初等体育科教育」「体育」「教職発展演習」「教材研究 A・B」「授業研究」「身体運動 I・II」
 「保育内容の指導法 (健康)」

【研究内容】小学校体育授業の指導法・指導技術・教材開発、および、小学校現職教員の研修プログラムの確立に関する研究に取り組んでいる。

地域連携・社会貢献活動

・和光市立北原小学校体育授業研究 (2014 ~ 2016年)
 指導講師および学校外向け中間発表会の企画運営指導

【COC事業 (2015年度)】

・地域志向教育推進「小学校現職教員における授業力向上研修プログラムの確立と教員養成カリキュラムの融合」

具体的な活動

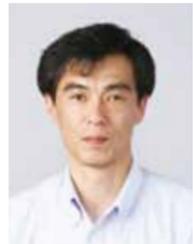
上記に示した2015年度COC事業では、新座市立野寺小学校と合同で現職教員の研修プログラムの在り方を探り、算数科と体育科を中核にして、私的な研修会参加や講演会実施の有効性、研究授業と授業後協議会の設定を切り口に研究を進めた。2016年度も研究を継続する予定である。(申請中)

よしかわ ともお

吉川 知夫

人間生活学部 児童教育学科 准教授

専門分野 言語・コミュニケーション障害学、肢体不自由教育



活動の概要

【担当科目】「肢体不自由教育課程論」「重複障害教育概論」等

【研究内容】・初期コミュニケーション評価と支援方法の開発
 ・障害のある子どもの学習評価と授業改善
 ・乳幼児期の社会的認知 (共同注意) の発達と支援
 ・ICTを活用したコミュニケーション支援

地域連携・社会貢献活動

・新座市巡回相談カウンセラー
 ・教育委員会、特別支援学校等における研修講師
 ・外部専門家として特別支援学校における教育活動支援
 ・特別支援学校における共同研究

いけだ

池田 まさみ

人間生活学部 人間発達心理学科 教授

専門分野 認知心理学、実験心理学、発達教育学



活動の概要

【担当科目】「心理学概論」「認知心理学」「心理学実験実習」「文化と発達」等

【研究内容】心理学実験の手法を用いて、人間の反応や行動のメカニズムを調べています。また、子どもたちの「科学的思考力」の育成に向けて、五感を通して体験的に学べる授業プログラムや教材の開発などに取り組んでいます。

地域連携・社会貢献活動

【講演活動】①一般向け心理学入門シリーズ:「こころのサイエンス」「こころの発達と教育」「こころの健康を考える」「推測する力を育む一体験教育について考える」など。

②中学生・高校生のための心理学入門シリーズ:「人間を科学するー心理学の学問としての魅力」「クリティカルシンキング入門ー自分の「思考」を思考する」など。

【委員会活動】日本心理学会代議員 (関東地区)、日本基礎心理学会理事、「とやま科学オリンピック」実施委員会委員長、都内区立中学校外部評価委員長など。

【産学連携】JTB 法人東京「旅いくプログラム」開発研究、株式会社 KDDI「モバイルを活用した実証実験」研究など。

【科学館との連携】子ども向け「実験心理学ワークショップ」の開催 など。子ども向け「心理学実験ワークショップ」の様子 / 基礎心理学研究第34巻1号「報告」より



いとう けいこ

伊藤 恵子

人間生活学部 人間発達心理学科 教授 / 学科長

専門分野 発達臨床心理学



活動の概要

【担当科目】「発達臨床心理学」「障害児・者の心理臨床」「乳幼児期の心理臨床」等

【研究内容】自閉スペクトラム症児に対しては、さまざまな支援が実施されていますが、日常生活への効果に関するデータは少なく、十分な科学的検証に基づいたものは多くありません。そこでかれらのコミュニケーション能力に対する多角的実証データに基づいた養育者による日常的支援を行うために、かれらのコミュニケーション能力の特徴の把握とその関連要因の解明を行っています。

地域連携・社会貢献活動

・自閉スペクトラム症の方たち及びその保護者の方たちへの支援
 ・子育て支援士養成講座講師
 ・元日本臨床発達心理士資格認定委員
 ・元足立区就学支援委員 等

具体的な活動

埼玉県内の幼稚園・埼玉医科大学・東京電機大学と連携して、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、定期的に自閉スペクトラム症の子どもたちとのグループ活動を本学の学生とともに実施しています。同時にその保護者の方たちの相談に応じたり、情報交換をしたりしています。



自閉スペクトラム症の子どもたちとのグループ活動

おおみや あきこ

大宮 明子

人間生活学部 幼児教育学科 准教授

専門分野 発達心理学、認知心理学



活動の概要

【担当科目】「保育心理学」「青年心理学」「児童学研究法」

【研究内容】・幼児期からの論理的思考力の発達
 ・ことばの発達と思考力との関係
 ・幼児期の家庭教育における親子のかかわり方
 ・幼児期のスマートフォンやタブレット端末の使用

地域連携・社会貢献活動

【COC事業の取組み】十文字学園女子大学人材育成方針「Jモデル」開発のための基礎的研究 (代表)

【その他社会貢献活動】①平成25-26年度文部科学省国立教育政策研究所プロジェクト研究「子どもたちの論理的な思考力の育成にかかわる調査研究」協力者会議委員、ワーキンググループ主催
 ②ベネッセコーポレーション幼児通信教育講座「こどもちゃれんじ」委託研究員

具体的な活動

生涯にわたる「生きる力」、特に自ら考える力を育成するために、幼児期から何をどのように家庭の中で行うことが好ましいかについての研究を進めています。研究の知見に基づいて、都内および近隣の幼稚園・保育園からの依頼により講演を行ったり、雑誌の取材などに応じています。特別ではない、誰もが少しの意識で実践できることを、研究の成果をもとに伝えていくことを心がけています。

かざま ふみあき
風間 文明

人間生活学部 人間発達心理学科 教授

専門分野 社会心理学



活動の概要

【担当科目】「社会心理学概論」「グループ・ダイナミクス」「データ解析法」等
 【研究内容】人が役割行動をどのように獲得するか。世間が自己にどのような影響を与えるか。主に質問紙調査を使った研究。

地域連携・社会貢献活動

【COC事業の取組み】「学童保育における子どもの安全安心の確保と健全な育成を図るための取り組み」に参加

かしわば しゅうじ
柏葉 修治

人間生活学部 人間発達心理学科 教授

専門分野 臨床心理学



活動の概要

【担当科目】「カウンセリング理論」「カウンセリング技法」「教育相談」「生徒指導」等
 【研究内容】臨床心理カウンセリングの面接(事例)において主に認知行動療法を活用したプロセスについての研究。

地域連携・社会貢献活動

東京都内におけるカウンセリングセンターにおいて、ボランティアでカウンセリング活動をしている。

具体的な活動

今後、地域の学校における教師への教育相談場面におけるカウンセリング研修などに協力支援していきたい。

かとう あきこ
加藤 陽子

人間生活学部 人間発達心理学科 准教授

専門分野 学校カウンセリング(困難を抱える子どもやその親への支援)



活動の概要

【担当科目】「発達・教育相談」「児童期から青年期の心理臨床」「児童期の心理学」等
 【研究内容】・不登校やいじめへの支援方法
 ・校内の教育相談体制構築
 ・産後の母親支援
 ・女子大生への親教育

地域連携・社会貢献活動

埼玉県 保護者や教員のための不登校セミナー 2015 講師(「子どもを支えあうために」)
 「子ども教育支援財団柏分室 平成27年度 第2回教育シンポジウム」講師(「親と教師にできる自信の届け方」)
 「港区つばさ教室 平成27年度研修会」講師(「不登校の子どもとその保護者を支えるために」)
 「平成27年度 狭山市民大学 生きがい学科」講師(「高齢者と他世代関係」)
 「女子大生と産後講座」主催(「産後女性の心と身体について考える」)

具体的な活動

学校カウンセリングの知見を活かし、地方自治体や親の会、民間の支援団体にて、「不登校児童生徒や保護者へのサポート」に関する講演や研修会、ワークショップを多数行っています。
 また、「女子大生と産後講座」と題して、NPO法人マドレボニータから講師を招聘して、女子大生と産後の母親がともに学びあう講座を平成26年度から定期的に継続して開催しています。

とうはた かいと
東畑 開人

人間生活学部 人間発達心理学科 講師

専門分野 こころのケア、臨床心理学



活動の概要

こころのケアについて、占いから近代医学、そして臨床心理学まで、幅広く扱っています。人の心はなぜ痛み、どのように癒されるのかがテーマです。
 著書に「美と深層心理学」「野の医者 笑う一心の治療とは何か」があり、現代社会における心の病と治療について、臨床実践とフィールドワークを中心にして研究を行っています。

地域連携・社会貢献活動

NHK、朝日新聞、東京新聞、埼玉新聞、テレビ埼玉などで取り上げられた「新座市ふしぎマップ」を学生と共に作成しました。地域の方々のお話を伺い、新座市の魅力を発信しようとするプロジェクトです。

具体的な活動

様々な場所にフットワーク軽く足を運び、お話をお聞きして、それを本や発行物としてまとめる活動をしています。Twitterでの情報発信もしています。Ktowhataで検索ください。

やました ともみ
山下 倫実

人間生活学部 人間発達心理学科 講師

専門分野 社会心理学(親密な人間関係の進展と崩壊)



活動の概要

【担当科目】「心理学情報処理法」「恋愛と結婚の科学」「人間関係の心理学」等
 【研究内容】恋愛関係が崩壊してから、どのように人が立ち直っていくかという研究をしています。
 特に、立ち直りに影響を及ぼすSNSにおける相互作用やソーシャル・サポートの効果などに興味を持っています。
 最近では、産後に変化していく夫婦関係にも着目しています。

わたい まさやす
綿井 雅康

人間生活学部 人間発達心理学科 教授

専門分野 教育心理学



活動の概要

文章の理解と産出過程に関する実証的な研究に取り組む。また、児童生徒を対象として開発した教材的な心理検査の活用に関する教育実践的な研究にも取り組む。

地域連携・社会貢献活動

- ・(財)テクニカルコミュニケーター協会・会長
- ・志木市教育委員会いじめ防止対策委員会・委員
- ・都内公立小・中学校評議員
- ・練馬区小中連携推進教員育成研修部会・部長(平成25年～平成27年)
- ・教育委員会等主催の研修会講師
- ・台東区ぜんそく児水泳教室主任指導員(心理的効果の検討)

いしだ ゆうり
石田 有理

人間生活学部 人間発達心理学科 講師

専門分野 発達心理学、子どもの思考と学びの発達



活動の概要

【担当科目】「乳幼児期の心理学」「行動観察法」「発達心理学外書購読」等
 【研究内容】幼児期の知識獲得における分類、比較、推論等の発達過程についての研究、幼児期の学習における大人の支援の在り方、教材の効果に関する研究

地域連携・社会貢献活動

ベネッセコーポレーションの幼児向け教材開発への協力

かたいぎ ひでと
片居木 英人

人間生活学部 人間福祉学科 教授

専門分野 日本国憲法、性と人権、社会福祉の法と政策・制度



活動の概要

【担当科目】くらしのなかの日本国憲法、社会福祉概論Ⅰ、社会保障論Ⅰ・Ⅱ 等
 【研究内容】売春防止法の現代的課題、セクシュアル・ライツをめぐる問題状況、現代の社会福祉・社会保障における人権と法の総合的研究

地域連携・社会貢献活動

彩の国大学コンソーシアム公開講座講師
 2014年度「自立と福祉の人権論」、
 2015年度「人権視点から少子化、児童虐待問題を考える」

具体的な活動

最近の著書としては『日本国憲法へのとびら — いま、主権者に求められること—』（共著、法律情報出版、2015年）、
 『現代の社会福祉をめぐる人権と法』（単著、法律情報出版、2015年）があります。

おおた まちこ
太田 眞智子

人間生活学部 人間福祉学科 准教授

専門分野 障がい者福祉、高齢者福祉



活動の概要

【担当科目】「障害者福祉論」「就労支援サービス」「社会福祉の歴史」「障害の理解」等
 【研究内容】障害のある当事者の思い／障害者虐待防止／専門職について／介護技術等

地域連携・社会貢献活動

・新座市障がい者施策委員会委員を務めています
 ・介護職員初任者研修講師を務めています
 ・「新座市内 介護・福祉・医療の資質向上と連携強化への取組」をテーマとし、新座地域の福祉事業所の方々の要望に応え、研修会を継続的に開催しています。

具体的な活動

「当事者から学ぶ姿勢」を忘れずに歩むことをモットーとしています。障がいのある人、家族の声を聴き、福祉を学ぶ学生に伝えたいと考えています。

かとう のりこ
加藤 則子

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 子どもの健康増進と病気の予防、子どもの成長発達



活動の概要

【担当科目】「児童保健学Ⅰ」「児童保健学Ⅱ」「児童保健学演習」「健康教育学」「健康教育学演習」
 【研究内容】・小児の身体発育 身体発育曲線の作成法
 ・東日本大震災が小児の健康と発育に及ぼした影響に関する検討
 ・子育て技術の支援プログラムを地域の親に施行した場合の効果判定とよりよい介入法の開発
 ・地域の子育て支援ニーズの把握と提供体制に関する検討
 ・不妊治療の普及がふたごの出生数やそのリスクに及ぼした影響

地域連携・社会貢献活動

大学でのプロジェクト研究として、新座、和光、志木、朝霞4市における官産学の連携に基づいた前向き子育て文化の醸成と子育て支援基盤の整備に関する取り組みを実施している。国研、自治体、大学法人の研究評価委員等を務めた。

具体的な活動

・前職国立保健医療科学院において、母子健康手帳に載せる乳幼児身体発育値を平成2年、12年、22年の3回にわたって作成してきた。平成32年値の円滑な作成に向けて前職場と連携して準備を進めている。
 ・子育て技術を伝え、前向き子育てを推進する育児支援プログラム「トリプルP」をオーストラリアから日本に導入し、評価研究を実践し、普及に努めた。
 ・児童虐待予防・再発防止のため児童相談所の親支援のためのマニュアルを作成した。

おおやま ひろゆき
大山 博幸

人間生活学部 人間福祉学科 准教授

専門分野 対人援助論、傾聴トレーニング



活動の概要

ソーシャルワーク論や相談援助演習、ケア論、教育原理などを担当しています。現在の研究は、現場福祉職の自己省察による自己覚知獲得支援をテーマに、欧米の動向も含んだ自己覚知論の検討、自己覚知獲得を効果的に促進するワークシートやその手法の開発と評価を行っています。また、社会福祉士となるための実習教育の教材やその方法について開発、施行、研究を行っています。

地域連携・社会貢献活動

【COC事業の取組み】介護保険施設で認知症高齢者を対象に傾聴実践を行っています。また、傾聴活動に参加する学生に対しては傾聴技術トレーニングという視点から、効果的な傾聴トレーニングの方法やその評価を行った研究を行っています。また新座市社会福祉協議会の主催で内の方を対象とした傾聴ボランティア養成講座を担当させていただきました。



傾聴ボランティア活動の取り組み

具体的な活動

特別養護老人ホームそらーれ新座での傾聴ボランティア実践活動
 新座社会福祉協議会主催傾聴ボランティア養成講座講師 / 群馬県認定介護福祉士養成研修において、講義名「自己覚知と他者理解—ソーシャルワークの理論と方法」の講師等

かみがいち のぶこ
上垣内 伸子

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 保育学、発達臨床学



活動の概要

【担当科目】「幼児教育学」「保育内容総論」「幼稚園教育実習」等
 【研究内容】キーワード：幼児教育・保育、障害児保育、発達臨床相談、子育て支援、保育者養成
 ・幼児の自発的生活と遊びを中心とした保育と保育援助 — その歴史と世界潮流
 ・日本の保育における ESD(持続可能な開発のための教育)の在り方の検討
 ・ドキュメンテーション作成と保育カンファレンスを通じた保育者の成長と保育者養成
 ・妊娠期からの切れ目のない子育てのリスク支援の国際比較研究

地域連携・社会貢献活動

【COC事業の取組み】幼児教育学科卒業生によるピアサポートとしての子育て支援
 実習体験を基盤に置く初年見教育 / 妊娠期からの切れ目のない子育て支援
 【社会的活動】世界の保育者・保育研究者との交流 / 福島の子育て支援
 現職保育者の研究会企画・運営 / 障害児の発達相談・保育相談

具体的な活動

OMEP(世界幼児教育・保育機構)日本委員会副会長 NPO法人練馬春日町幼児教室(障害児親子通園施設) 心理相談員 / 運営委員都道府県 / 市町村(さいたま市、戸田市、練馬区、目黒区など)の幼稚園教諭 / 保育所保育士研修会講師および障害児保育巡回相談員訪問型子育て支援 NPOトラスティー幼稚園 / 子育て支援センター / 保健所などでの保護者向け講演会講師

かめざき みさこ
亀崎 美沙子

人間生活学部 人間福祉学科 講師

専門分野 保護者支援、地域子育て支援



活動の概要

【担当科目】「保育相談支援」「保育原理」「保育内容総論」

【研究内容】保育所保育士の行う保育の専門性を基盤とした保護者支援や地域子育て支援拠点に関する実践研究。

地域連携・社会貢献活動

- ・えひめこどもの城運営委員
- ・松山市子ども・子育て会議委員
- ・全国保育士養成協議会専門委員
- ・各種保育士研修

具体的な活動

子どもに関する施設運営・政策に関する各種委員会、保育士養成教育に関する調査研究の他、保育者を対象とした専門研修等、各種研修を行っている。

かわきた まさよ
川喜田 昌代

人間生活学部 幼児教育学科 准教授

専門分野 乳児保育、子育て支援



活動の概要

【担当科目】「乳児保育Ⅰ・Ⅱ」「保育カリキュラム論」「子育てと環境」「卒業研究」「保育実習総論Ⅰ・Ⅱ」等

【研究内容】・保育園での保育士の協働について実態調査（特に未満児クラス）

- ・保育園における食育（アレルギー食）について
- ・児童館の役割について（子どもや親、職員の実態調査）
- ・幼稚園・保育園・認定こども園における災害マニュアル作成に関する研究

地域連携・社会貢献活動

幼稚園の保護者対象の教育講演会講師 / 幼稚園における未就園児を持つ親子対象「ひよこの会」での子育て相談
東京都中央区児童館運営委員長（2014） / 世界の保育者・保育研究者との交流、福島県の保育者との対話と支援
OMEP（世界幼児教育・保育機構）日本委員会事務局次長 / NPO法人NCN（子育て、障害児ケア）代表（理事長）

具体的な活動

子育てにおいてのよりよい環境とは何か、親と子ども、子どもの仲間関係（障害を持つ子も含む）、保育者と子どもとの関係の中で大切な要素とは何かを考えています。NPO法人の活動を通して子育て中の親支援などの実践活動も行い、保育者養成について研究を続けていきます。

くりはら なおき
栗原 直樹

人間生活学部 人間福祉学科 教授 / 学科長

専門分野 児童虐待、児童相談所、児童福祉施設、子どもの権利



活動の概要

【担当科目】「児童家庭福祉論」「児童家庭福祉特論」「ソーシャルワーク論」「社会福祉施設経営論」

【研究内容】・児童虐待に関する制度

- ・第一線機関の児童相談所の機能（直近は児童心理士業務について）
- ・児童養護施設を退所した児童の自立支援について

地域連携・社会貢献活動

- ・埼玉県子どもの権利擁護委員会委員長（スマイルネット電話相談からのいじめ相談への対応）
- ・埼玉県運営適正化委員会委員長（社会福祉施設における苦情相談調整等）
- ・埼玉県子どもサポート委員（児童養護施設における子どもの権利擁護相談、運営相談）

具体的な活動

- ・スマイルネットにおいては「いじめ相談」について本人の意向を踏まえた調査専門委員の調査調整について審議している。
- ・運営適正化委員会では、苦情申立者と社会福祉施設の話し合いの場を設けている。
- ・サポート委員会では県内児童養護施設を訪問して、子どもや職員からの相談を受けている。

けん みんあい
権 明愛

人間生活学部 幼児教育学科 講師

専門分野 発達臨床相談、発達障害、障害児保育、療育方法



活動の概要

【担当科目】「障害児保育」「相談援助」等

【研究内容】発達相談・検査を活用した気になる子どもの発達支援、発達障害児者の認知特徴及び療育方法、障害児者施設における支援方法、特別支援教育に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- ・埼玉県内障害者支援施設の実践アドバイザーと研修講師
- ・埼玉県内私立保育園の発達相談員
- ・国立障害者リハビリテーションセンター主催の「海外発達障害支援制度情報交流会」の委員
- ・SGRA（関口グローバル研究会：日本で博士号を取得した知日派の多分野の学者による研究会）の運営委員

さとう あきら
佐藤 陽

人間生活学部 人間福祉学科 教授

専門分野 地域福祉活動、福祉教育、ボランティア



活動の概要

【担当科目】「地域福祉論」「ソーシャルワーク論」「ボランティア・コーディネーション」

【研究内容】要介護高齢者が主体となる地域で相互に学びあい・支えあう仕組みに関する研究（科研費） / 貧困の連鎖を防止し学習支援に寄与する学校と地域協同による開発的福祉教育実践研究（科研費） / 地域を基盤とする福祉教育に関する研究 / 地域包括ケアシステムと地域福祉力を統合化する基盤づくりに関する研究 / 双方向性のボランティア活動のあり方に関する研究

地域連携・社会貢献活動

【COC事業の取組み】地域志向研究「佐藤ゼミ地域福祉活動（知的障害者余暇活動支援ボランティア）体験学習」埼玉県福祉でまちづくり研究会主宰 / 川越市障害者施策審議会会長 / 和光市地域自立支援協議会会長 / 和光市地域福祉計画・和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会委員長等 / その他社会福祉施設・機関の第三者委員 / 自治体の委員 / 自治体・社協・NPO等の研修や講座、事業に協力

具体的な活動

- ・新福祉教育実践ハンドブック（共著）全国社会福祉協議会、2014
- ・地域福祉の理論と方法（共著）みらい、2014
- ・ケアマネージャーや社協、地域住民向けの地域包括ケアや地域福祉の講演、ボランティア育成や支え合い講座、児童厚生員への地域福祉活動講義と演習、孤立防止フォーラムの基調講演等
- ・多様な社会福祉従事者と地域福祉活動実践者と現場で働く卒業生や在学生が学び合い実践につなぐプラットフォーム「福祉でまちづくり研究会」を実施

しおたに えみ
潮谷 恵美

人間生活学部 幼児教育学科 准教授

専門分野 社会福祉、子ども家庭福祉、ソーシャルワーク、児童福祉施設における援助



活動の概要

【担当科目】「社会福祉」「社会的養護」「子ども家庭福祉Ⅱ」「施設実習Ⅰ」

【研究内容】・子ども、家庭福祉に関わるソーシャルワーク、相談援助の専門性

- ・社会的養護、乳児院、児童養護施設等の施設援助者の養成、育成
- ・実習における実習受け入れ施設との連携のあり方

地域連携・社会貢献活動

- ・保育所、児童養護施設、障害児施設等、社会福祉施設で行われる援助が利用者の権利を守るものとなるよう、専門性の向上や、職員の育成のために貢献すべく、研修、調査研究を行っている。
- ・全国乳児福祉協議会 乳児院における小規模化の在り方検討委員会委員（2013年度）
- ・第26回 第27回 社会福祉士国家試験 社会福祉士試験委員

具体的な活動

- ・研修、講習活動（社会福祉士実習演習担当教員講習会（日本社会福祉士養成校協会主催）講師）
- ・認定社会福祉士認証・認定機構2014年度、2015年度 認定社会福祉士特別研修講師
- ・乳児院・児童養護施設、保育所における職員研修、スーパービジョン
- ・文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究（C）「チームケアによる乳幼児の保健福祉支援プログラム開発に関する研究」（2013-2015年度）分担研究者

す す き は る こ
鈴木 晴子

人間生活学部 幼児教育学科 講師

専門分野 障害児発達臨床、子育て支援、絵本の読みあい等



活動の概要

【担当科目】「子ども家庭福祉」「社会的養護内容」「相談援助」「施設実習」
【研究内容】子どもと親との絵本の読みあいについて研究している。絵本の読みあいの様子を様子をみていると、子どもの楽しさと親の楽しさが共鳴するときもある、離れ離れになっているときもあることがわかる。双方のやり取りを通じた、関係性支援を模索している。その他、絵本の選び方、障害のある子どもの絵本の楽しみ方等も研究している。

地域連携・社会貢献活動

【COC事業の取組み】本学科1年次の初年次教育に関して、新座市内の子育て支援関連施設と連携し、地域に根差した子ども理解と保育者養成を目指している。
【その他の社会貢献活動】千葉県八街市・匝瑳市の子育て支援事業、保育教育機関での障害児保育に対する助言を行っている。また、子育て支援での絵本の読みあいを研究し、地域の子育て支援活動に役立てている。

具体的な活動

子どもを育てる保護者や保育者と出会うとき、子どもの育ちに対する温かな願いを感じます。特に障害のある子どもを育てる保護者の方々、その子どもの保育に携わる保育者の方々子ども理解の手助けと関わり方に対する助言を行っている。また、インクルーシブな環境になるよう、保育者養成課程の更なる充実に向けた研究にも着手している。

す す き ま さ こ
鈴木 雅子

人間生活学部 人間発達心理学科 講師

専門分野 学校保健、性教育、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ



活動の概要

【担当科目】「学校保健」「養護教諭実践論」「公衆衛生学」
【研究内容】学校保健から職場保健・地域保健の連携に関する研究

地域連携・社会貢献活動

・平成28年度 十文字学園女子大学公開講座
「「鍛えよう!子どもの心と体シリーズ」Part1 ～こころのケアと最新の知能検査について～」開催予定

具体的な活動

助産師・養護教諭としての経験を活かし、リプロダクティブ・ヘルス/ライツを軸に生涯を通じた性教育の進め方に関心を持っています。

す す き や す ひ ろ
鈴木 康弘

人間生活学部 幼児教育学科 准教授

専門分野 スポーツ心理学、保育学



活動の概要

【担当科目】「幼児運動論」「保育内容の指導法(健康)」「体育基礎Ⅰ(子どもと運動)」等
【研究内容】・幼児期の運動能力の年次推移(全国調査)
・幼児期の運動能力を育むための援助について
・幼児期の運動遊び経験と心理的・社会的発達との関係について

地域連携・社会貢献活動

・NHKエテレ すくすく子育て「運動能力アップのヒケツ」出演(2015.4.18放送)
・NHKエテレ まいにちスクスク「親子でできる運動遊び」出演(2015.5.4放送)
・第64回 全国幼児教育研究大会 講師
・第54回 全国学校体育研究大会広島大会 指導助言 等

具体的な活動

幼児の運動能力を育むための環境設定や援助、幼児期の運動遊び経験と心理的・社会的発達との関係を検討することを目的として、実践的研究を行っています。2015年度は、幼児と保護者を対象とした子育て支援プロジェクト(子ども元気プロジェクト、2015年度COC補助事業)を展開しました。得られた研究成果を各種メディアや講演、園内研などを通して社会還元できるように努めています。



平成27年度子ども元気プロジェクトの様子

つ の だ し ん じ
角田 真二

人間生活学部 人間福祉学科 教授

専門分野 ユニバーサルデザイン、認知過程、認知症予防、情報



活動の概要

【担当科目】「ユニバーサルデザイン」「生活環境支援技術」「福祉住環境論」「情報処理演習」
【研究内容】・ユニバーサルデザインの認知過程研究
・認知症予防とコンピュータ学習の関係

地域連携・社会貢献活動

新座市民、高齢女性と共同で、高齢女性のコンピュータボランティア養成講座を15年以上継続開催している。多い年には、2種類のクラスを各々2回、合計月4回開催するなどしてきた。

具体的な活動

・高齢女性のコンピュータボランティア養成講座
・認知症予防ファシリテータ養成講座等実施

と み い と も こ
富井 友子

人間生活学部 人間福祉学科 講師

専門分野 高齢者福祉、地域ケア



活動の概要

【担当科目】「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」「相談援助実習指導」「社会福祉実習」「卒業研究」
【研究内容】要介護高齢者の地域生活継続に関する研究

地域連携・社会貢献活動

・認知症サポーター養成講座講師(平成27年度 養成講座2回開催)
・平成27年度 高齢者住宅相談員研修会 講師
・新座・地域ケアの集い 世話人
・認定NPO法人暮らしネット・えん 理事

な が た み す え
長田 瑞恵

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 発達心理学、教育心理学、保育等



活動の概要

【担当科目】「児童学演習」「発達心理学」「児童学研究法」等
【研究内容】・幼児期の認知発達
・保育と子どもの育ちの関係
・幼小連携
・メディアリテラシー 等

地域連携・社会貢献活動

【COC事業の取組み】1年次児童学演習で新座市周辺の子育て関連施設と連携をとりながら、地域に根差した社会理解と保育者養成を目指しています。
【その他地域連携活動】学内のプロジェクト研究として、キャンパス周辺の放課後学童保育室の抱える問題について取り込んでいます。

具体的な活動

【現在までの学外での活動】新座市内の家庭保育室(無認可保育所)での発達相談・理事(保育担当)
【最近出版した本・出演メディア等】
「子どもは心の働きを表すことばがわかっているか」(共著、ミネルヴァ書房 2008年1月)
「母親になること」(共著、金子書房 2011年)
「発達過程に応じた保育」(共著、萌文書林 2012年)

二瓶 さやか

人間生活学部 人間福祉学科 講師

専門分野 高齢者福祉



活動の概要

【担当科目】「社会福祉概論」「介護過程基礎」「生活支援技術展開」
 【研究内容】・介護福祉士の専門性や介護福祉士養成教育のあり方に関する研究
 ・要介護高齢者に対する介護サービスに関する研究

地域連携・社会貢献活動

【社会貢献活動】
 ・介護福祉士国家試験実地委員
 ・介護職員初任者研修講師

具体的な活動

介護福祉士の専門性の向上・確立を目指して、介護の実践現場と連携を図りながら介護福祉士の養成教育・介護サービスに関する調査研究を進めていきたいと考えている。

野口 隆子

人間生活学部 幼児教育学科 准教授

専門分野 保育学、発達心理学



活動の概要

【担当科目】「保育者論」「保育内容の指導法（環境）」「保育実践論」「保育所保育実習Ⅰ」「保育実習総論Ⅰ」
 【研究内容】保育者の専門的発達、メンタリング、効果的な園内研修、保育の質が子どもの発達に及ぼす影響、幼児の仲間関係の発達

地域連携・社会貢献活動

園内研修講師 / 日本学術会議子どもを元気にする環境づくり戦略・政策提言調査小委員会メンバー（2006年）
 / 文部科学省 幼稚園教育指導資料第3集「幼児理解と評価」指導資料作成協力者（2009年） / 第5集「指導と評価に生かす記録」指導資料作成協力者（2013年） / 保育者研修会講師（ソニー幼児教育支援プログラム地域研究会（2010年） / 宮城県保育協議会（2012年） / 郡山市（2013年） / 山形県保育協議会（2014年） / 浦安市（2014年）、栃木県（2015年））

具体的な活動

子どもの経験を捉える視点や保育環境、園全体での取り組み、記録の実践について、研究や研修をおこなっています。現在、共同研究のなかで、幼児期から児童期の縦断的発達研究や接続期について考え、より良い保育の質とは何かについて検討しています。

野島 靖子

人間生活学部 人間福祉学科 准教授

専門分野 高齢者福祉、介護



活動の概要

【担当科目】「日常生活支援技術」「介護実習指導」
 【研究内容】地域ケア、生活困窮者支援

地域連携・社会貢献活動

「新座・地域ケアの集い」世話人、埼玉県中山間地域ふるさと支援隊事業受託

具体的な活動

「新座・地域ケアの集い」は10年ほど前から、新座市内の介護事業所の方々と協働し、勉強会やイベントなどを開催してきた。「ふるさと支援隊」では秩父市内の中山間地域を学生と共に訪問している。



秩父市石間収穫祭で花輪踊りを披露

福田 智雄

人間生活学部 人間福祉学科 教授

専門分野 子育て支援、虐待などの理由で家庭で育てられない子どもについて



活動の概要

【担当科目】主に虐待などの理由で家庭で育てられない子どもについて学ぶ社会的養護、保育士養成科目である施設実習、相談援助演習などを担当しています。
 【研究内容】児童養護施設在籍児童で卒業まじかの子どもたちの今後、学童保育の今後の課題等です。

地域連携・社会貢献活動

学童保育の基盤を強固にするためにも、学童保育指導員の皆さんに対する研修にはできるだけ協力したいと考えています。

具体的な活動

子育て支援、学童保育などでできるだけ広い分野で活動を深めたいと考えています。

布施 晴美

人間生活学部 人間発達心理学科 教授

専門分野 子どもの看護、子どもの保健



活動の概要

【担当科目】「小児保健看護学」「看護学概論」「看護援助方法」「保育内容演習Ⅰ（健康）」等
 【研究内容】・多胎育児支援に関する研究
 ・放課後児童クラブの子どもたちの安全安心と健全育成に関する研究
 ・養護教諭の看護学に関する研究

地域連携・社会貢献活動

埼玉県放課後児童クラブ支援員研修会講師 / 保健師対象の多胎育児支援研修会講師
 保健センター主催多胎児家庭対象の多胎育児教室の講師 / 子育て支援センタースタッフ研修会講師
 乳幼児保護者対象の子どもたちの健康に関する講座の講師等。
 【COC事業の取組み】「学童クラブでの安心安全の確保と健全な育成を図るためのと陸に関する研究」（代表）

具体的な活動

自身も多胎児の母親であることから、専門性をいかして多胎育児支援に関する活動を行っている。また、乳幼児を中心とした子どもの事故防止や病気に対する看護など母親向けの講座も担当している。さらに、放課後児童クラブの支援者スキルアップの研修において、学童期の子どもの安全管理と事故防止、応急手当などに関する講座を担当している。

宮内 寿彦

人間生活学部 人間福祉学科 教授

専門分野 社会福祉学、介護福祉（理論・方法論・教育方法・制度）



活動の概要

【担当科目】「社会福祉概論Ⅱ」社会福祉関係法制度及び関係機関の役割について学びます
 「基礎介護論Ⅰ・Ⅱ」介護の歴史、思想、理論について、介護福祉学の基礎を学びます
 「介護と倫理」代表的な倫理学について、介護現場の事例をもとに理論と融合し学びます

地域連携・社会貢献活動

介護福祉士養成大学連絡協議会 理事 / 社会福祉法人 永寿会 理事
 公益社団法人日本介護福祉士会 埼玉県介護福祉士ファーストステップ講習会講師
 公益社団法人日本介護福祉士会 埼玉県介護福祉士実習指導者講習会講師 / 日野市介護保険運営協議会 委員
 日野市地域包括支援センター運営協議会 委員 / 日野市地域密着型サービス運営委員会 委員
 日野市在宅高齢者療養推進協議会 委員

具体的な活動

介護福祉士養成大学連絡協議会では、「四年制介護福祉士養成大学の教育の強みはどこにあるのか、独自科目、独自の教育方法を可視化するデータを示す」ことをテーマに、全国の加盟大学の教員と研究を進めています。埼玉県介護福祉士実習指導者講習会では、介護現場で勤務する実習指導者への教育研修を行っています。



むかいみほ
向井 美穂

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 子育て・子育て支援、発達臨床心理、臨床心理保育



活動の概要

- 【担当科目】「子育て支援論」「保育・教育相談」「発達臨床論」「発達臨床論演習」「保育所保育実習」等
 【研究内容】・親子関係の構築についての実践研究
 ・「対話と傾聴」を基本とした子育て支援の有効性について
 ・フィンランドにおけるネウボラの実践からの検討
 ・地域の子育て支援と保育・教育との連携に関する検討
 ・子育て支援の国際共同研究

地域連携・社会貢献活動

各自治体、幼稚園、保育所等主催の子育てに関する講演会講師 / 保健所等における親子の心理相談
 保育所での巡回相談 / COC事業における地域子育て支援に関する公開研究会開催
 清瀬市子ども・子育て会議委員 / 新座市児童福祉審議会委員 等

具体的な活動

子どもが育つ上で必要な人との関係、主に親子関係を中心に研究を進めています。その上で、子育てを楽しめる社会となる為に必要なことは何かを考え続けています。私自身も、その必要な要素を提供する一員となれるよう実践及び研究そして教育の側面から、継続的に活動を続けています。子ども、そしてその育ちを支える人々の力となる活動を目指しています。

やすだてつや
安田 哲也

人間生活学部 人間発達心理学科 有期助手

専門分野 発達心理学、言語心理学



活動の概要

- 【研究内容】コミュニケーションや意図伝達について研究をしています。明示できない非言語情報の相互作用における、意図理解や意図推定の過程に興味を持ち、それらの知見を実験心理学的アプローチを用いて調べています。
 【キーワード】非言語情報の利用・理解、ジェスチャー、言語獲得

地域連携・社会貢献活動

- ・自閉スペクトラム症児・者及びその保護者の方たちへの支援

やまぐちゆみ
山口 由美

人間生活学部 人間福祉学科 准教授

専門分野 介護福祉、ケアマネジメント



活動の概要

- 【担当科目】「認知症の理解」「こころとからだのしくみ」「医療を必要とする人への介護」
 【研究内容】・認知症の人及び家族介護者へのケア
 ・利用者及び介護者双方にとって安全で安楽な介護技術

地域連携・社会貢献活動

【COC事業の取組み】地域志向教育研究において
 【社会貢献】介護福祉士国家試験実地委員、介護職員初任者研修講師

具体的な活動

志木市子育てネットワークと共催で、カブラブロックを用いた親子ワークショップにゼミ生と参加。「ママサブリ」という子育て支援講座中の保育を学生と行う。子育てネットワークの方々や地域の子育てニーズについて一緒に考え、活動させていただいている。



子育て支援講座(ママサブリ中の保育の様子)

やまだようこ
山田 陽子

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 保育学、障害児保育



活動の概要

- ・障害のある子どももいない子どもも、一人ひとりが集団の中で明るく楽しく伸び伸びと生活しながら、その子らしく成長していくために必要とされる共感的な理解と保育援助のあり方を学生とともに深く学ぶ。
- ・子ども達の日常的に遊んでいる、砂遊びやごっこ遊びや鬼ごっこ等に込められているそれぞれの遊びのおもしろさや遊ぶ中で培われる子どもの発達と援助のあり方について学生とともに実践も交えながら楽しく学ぶ。

地域連携・社会貢献活動

- ・公民館主催による「子育て応援講座」や「保育サポーター研修会」に講師として参加。
- ・保護者主催の「障害のある青年の部の集い」にスタッフとして参加。

具体的な活動

- ・テーマは「今どきの子育て事情」「すぐに役立つ保育の学び」などで、育児や保育の実践に役立つことを学び合う。
- ・青年達と週に1回程度集まって、お料理・造形活動・音楽活動・散歩・外食などをして、共に生活を楽しむ。

よこいひろこ
横井 紘子

人間生活学部 幼児教育学科 講師

専門分野 保育、子ども、遊び



活動の概要

- 【担当科目】「保育内容の指導法(健康)」「保育内容の指導法(言葉)」「保育内容総論」「保育人間学」「幼稚園教育実習」等
 【研究内容】・子どもの遊びや生活についての現象学的研究
 ・保幼小連携

地域連携・社会貢献活動

- ・平成25年度 埼玉県国公立幼稚園教育研究会講演会 講師
 「子どもの育ちを支える幼小連携を探る一何をどのように「つなぐ」のかー」

具体的な活動

子どもの世界の奥深さを探るため、保育現場等でフィールドワークをしています。遊び、時間や空間、モノ、言葉、他者など、人間にとって身近なテーマから事例を考察し、子どもの生きている世界を描き出すことをめざしています。また、2歳の娘を子育て中で、娘からも様々なことを気づかされる日々です。子育てや保育のノウハウではなく、子どもの世界を豊かに感じる力の大切さを、私も子どもから学びながら発信していきたいです。

ありた あんな
有田 安那

人間生活学部 健康栄養学科 助手

専門分野 栄養学



活動の概要

【担当科目】「基礎栄養学実験」「食品衛生学実験」「生化学実験」等
 【研究内容】・鉄吸収調節に関する研究
 ・亜鉛の生理機能の解析

いで たかし
井手 隆

大学院 人間生活学研究科 食物栄養学専攻 / 人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 栄養化学、食品機能学、分子生物学



活動の概要

【担当科目】「食品衛生学」「人間生物化学」「食品衛生学実験」
 【研究内容】脂質代謝の改善は高脂血症とこれに起因する動脈硬化症および肥満などの生活習慣病の予防治療に有効である。私共は健康に寄与する食生活への指針の提示および新奇機能性食品の開発に資することを目的に、食品と食品成分が生体の脂質代謝に与える影響に関して、動物実験により解析を行っている。具体的には肝臓の脂肪酸代謝系（脂肪酸合成と脂肪酸酸化系）の酵素の活性と遺伝子発現の制御に関して詳細な解析を行っている。

地域連携・社会貢献活動

日本栄養・食糧学会代議員 / 日本食物繊維研究会評議員 / 食品新素材協議会学術委員 / 日本ゴマ科学会評議員
 油脂・コレステロール研究会理事

いけがわ しげき
池川 繁樹

人間生活学部 健康栄養学科 教授 / 学科長

専門分野 運動生理学、バイオメカニクス



活動の概要

【担当科目】「運動生理学」「バイオメカニクス」「解剖生理学実験」
 【研究内容】身体組成、大学スポーツ選手の栄養サポート、地域高齢者の健康問題、身体活動量の測定

地域連携・社会貢献活動

新座市における高齢者の健康調査、体力測定

具体的な活動

- ・大学十硬式野球選手、ウエイトリフティング選手、バスケットボール選手の栄養サポート
- ・身体活動量の測定
- ・地域高齢者の健康調査、体力測定

いのうえ くみこ
井上 久美子

人間生活学部 食物栄養学科 准教授

専門分野 健康教育、栄養教育、食育



活動の概要

【担当科目】「栄養教育論 I・II」「栄養教育論実習 I・II」「栄養教育実践論 I・II」等
 【研究内容】ライフステージやライフスタイルに応じた効果的な栄養教育・食育の検討

地域連携・社会貢献活動

- ・COC食育プロジェクトのメンバーとして、新座市の若い女性を対象とした和食講座などの運営に携わっている。
- ・幼稚園や小学校での食育に関する講演を行っている。

いしい かすみ
石井 和美

人間生活学部 食物栄養学科 有期助手

専門分野 調理科学



活動の概要

【担当科目】「応用栄養学実習」「調理学実習」の助手
 【研究内容】・雑穀粉を利用したグルテンフリーパンの製パン性に関する研究
 ・雑穀を添加したパンの力学的性質

地域連携・社会貢献活動

新座市社会福祉協議会との連携「会食ふれあい事業調理ボランティアさんの調理教室」で助手を務めた。

いわもと たまみ
岩本 珠美

人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 臨床栄養学、食生活学



活動の概要

【担当科目】「臨床栄養学 I」「臨床栄養学 IV」「臨床栄養学実習 II」「臨床栄養学臨地実習」
 「実践臨床カウンセリング論（演習含む）」等
 【研究内容】動脈硬化予防のための食事療法に関する研究。

地域連携・社会貢献活動

地域志向教育として、新座市保健センターと連携を取り、「健康まつり」への協力や地域の方への調理教室の補助などを実施している。また、地域で採れた食品の機能性の探索やレシピの開発を行っている。

具体的な活動

新座市保健センターとの連携においては、「健康まつり」の協力として、学生が作成した健康教育ポスターの提供を行った。また、小・中学生に配布する食育普及啓発用クリアフォルダのデザインを学生が考え提案した。健康講座で配布するレシピ・リーフレットの作成を行っている。地域で採れた食品の機能性の探索やレシピの開発についても継続して実施する予定である。

おかもと せつこ
岡本 節子

人間生活学部 食物栄養学科 准教授

専門分野 調理学、給食経営管理、高齢者の栄養管理及び介護食



活動の概要

【担当科目】「調理学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「給食経営管理論実習」「食事計画論Ⅰ・Ⅱ」
【研究内容】要介護高齢者の食支援、介護食の研究。高齢者向けの真空調理レシピの開発。

地域連携・社会貢献活動

【COC事業の取組み】

・新座市NPO法人高齢者施設の食事サービスの改善への取り組みを行っている。
・地域の食材を使用した栄養価値のある商品の開発を行っている。



新座市NPO法人暮らしネットえんにて夕食の調理と配膳

具体的な活動

高齢者の健康を支えるために、介護食や美味しく食べやすい食事を提案し支援する活動を行っている。

おりぐち
折口 いづみ

人間生活学部 食物栄養学科 有期助手

専門分野 食品科学



活動の概要

【担当科目】「基礎栄養学実験」等の助手
【研究内容】・新規低温乾燥技術による粉末食品の香り特性の研究
・病態モデルによる食品成分の相互作用による相乗的脂質代謝改善効果の分子基盤の解明

かじの りょうこ
梶野 涼子

人間生活学部 食物栄養学科 講師

専門分野 食品化学



活動の概要

【担当科目】「食品学Ⅱ」「食品化学」「食品加工学実習」「食品化学実験」「食の科学」等
【研究内容】・各種食卵・卵黄の科学と利用性
・各種食卵・卵白タンパク質の科学と機能性

地域連携・社会貢献活動

・平成23年度 新座市内大学公開講座
高齢期の心豊かな生活のために「楽しく食べて、いきいき健康」の担当助手

きむら やすこ
木村 靖子

人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 調理科学、給食経営管理学



活動の概要

【担当科目】「調理学・同実習」「食事計画論・同演習」「給食計画・実務論」「給食運営実習」等
【研究内容】・新食品素材(桜葉、藻類、粉末かんぴょう、発酵食品など)を利用した料理の嗜好性および調理特性
・トマトの消費拡大を目的としたトマトレシピの検討
・ヒトの食行動、食意識の家庭内での伝承
・宇宙環境における食資源に関する研究
・女子大生の朝食欠食習慣に対する栄養教育の効果など

地域連携・社会貢献活動

・平成27年度 地域連携共同研究所 プロジェクト研究「十文字学園女子大学シニア健康教室」において、参加者のシニア世代の皆さんに管理栄養士の立場から「食生活を考える」のミニ講義を行う。
・平成27年度 地域連携共同研究所 COC地域志向教育研究「食で育む管理栄養士の専門性」において、「プロの調理人による和食文化セミナーと調理実習(全3回)」と「新座市親子DEミニウォーキング&スタンプラリー」をアシストした学生の指導。

具体的な活動

・港区区民大学公開講座 講師(1996年) テーマ「家族の食事計画」
・千代田区立小学校食育特別講義 講師(2008年) テーマ「おせち料理、食べ物と成長」等
・新座市内大学講座 講師(2011年) テーマ「高齢期の心豊かな生活のために」
・埼玉県日高市保健相談センター主催 健康づくりボランティア活動のための研修会講師(2012~2014)
テーマ「健康と葉酸、豆と健康、野菜の色と健康」等
・日本こんにゃく協会「ご当地こんにゃく新感覚レシピ」制作(2015年)



COCシニア健康教室でミニ講義

きんたか ゆり
金高 有里

人間生活学部 食物栄養学科 講師

専門分野 妊娠期の栄養、生活習慣病、おいしさと調理科学、食教育



活動の概要

【担当科目】「調理学」「調理学実習」「応用栄養学実習」等
【研究内容】・妊娠期の栄養が将来の生活習慣病に及ぼす影響について
・発達段階に適した食事(離乳期~学童期)に対する調理科学的検討
・発達段階に合わせた食事と食教育について

具体的な活動

・地域の保育園において園児を対象とした調理実習と食育
・小学生を対象とした調理実習と食育活動(ミルクを使った調理実習とミルクの食育、地域の小麦を使ったパン作り教室、地域の小麦を使ったうどん作り教室、教育委員会生涯学習講座「食べ物についてたくさん発見しよう」等)
・市民公開講座「いきいき健康! e-(い)食育!」「肥満と生活習慣病とメタボリックシンドローム」等
・サテライトキャンパス「肥満予防と健康のためのおいしい話」
・I型糖尿病サマーキャンプでの管理栄養士の取り組みに参加
・会食ふれあい事業ボランティアさんのための調理実習
・地域マルシェでの地域の食材を用いた自作スイーツの販売



マルシェでの自作スイーツ販売の様子

くどう たかこ
工藤 貴子

人間生活学部 食物栄養学科 有期助手

専門分野 調理科学



活動の概要

【担当科目】「調理学実習」等の助手
【研究内容】・主食へのおからの有効利用に関する調理科学研究
・市販だしの素・つゆの成分および嗜好性に関する研究
・各料理において実際に喫食される食塩量

地域連携・社会貢献活動

第3~7回ウィズガス 全国親子クッキングコンテスト 桐生ガス主催群馬県大会(関東中央地区大会予選)の運営補助(平成21年~25年)

くりさき じゅんいち
栗崎 純一

大学院 人間生活学研究科 食物栄養学専攻 / 人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 食品学、食品生化学、食品機能学、食品加工学



活動の概要

- 【担当科目】大学院：「食科学特講」「食科学概論」「食品学特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」
学部：「食品学Ⅰ」「食品加工学」「食品加工学実習」「食品化学実験」「食物栄養学演習」「卒業研究」
- 【研究内容】・ダチョウ卵など各種鳥卵たんぱく質からの新たな有用機能の開発・利用
・食物アレルギーのアレルゲン低減化
・ペプチドや乳酸菌を利用した機能性食品の開発
・食物繊維摂取増加と環境負荷軽減をめざした、おから含有食品の開発・利用

地域連携・社会貢献活動

埼玉県食の安全県民会議委員 / (公社)フーズスペシャリスト協会専門委員
日本食品免疫学会評議員 他 / 日本食品科学工学会
日本栄養・食糧学会 / 日本農芸化学会 / 日本アレルギー学会等会員 等。



研究開発した食物繊維リッチヌードルを学園祭で提供

具体的な活動

研究成果を地域や社会で生かせるよう、食品に関する基礎研究を進めている。また、これまで蓄積した研究成果の活用方策について、業界等各方面の専門家とも検討し、成果の普及をめざしている。

こばやし みちこ
小林 三智子

人間生活学部 食物栄養学科 教授 / 学科長

専門分野 味覚感受性、官能評価学、心理物理学



活動の概要

- 【担当科目】大学院：「調理科学特論」 学部：「応用栄養学」「応用栄養学実習」
- 【研究内容】・若年女性の味覚感受性の心理物理学的研究
・味覚変容物質による味の変化 ・気分の変容による味の感じ方の違い
・ストレス負荷における味覚感受性と自律神経活動の変化 ・雑穀を添加したパンの力学的性質
・地場野菜を利用したレシピの開発

地域連携・社会貢献活動

【社会貢献活動】日本官能評価学会副会長 / 常任理事、編集委員長
日本家政学会関東支部副支部長 / 新座市商工会観光新座地域振興事業委員会委員等。
【地域連携活動】新座市民祭り / 商工会との共同事業“すぐそ新座”発見ウォーキング実施
新座市4Hクラブとの連携事業 / 新座市社会福祉協議会との連携「会食ふれあい事業」



新座産の野菜を利用したベジタブルドーナツの販売(桐華祭)

具体的な活動

- ・新座市民祭りに10年連続参加し、商工会との共同事業“すぐそ新座”発見ウォーキングにおいてゼミ生が作成したスイーツを提供した。
- ・新座市社会福祉協議会との連携事業を6年連続で実施「会食ふれあい事業 調理ボランティアさんの調理教室」をコーディネートした。
- ・JAあさか野、市役所、尾崎農園、丸越食品と連携し、新規ドレッシングの開発を行っている。

ささき なほ
佐々木 菜穂

人間生活学部 健康栄養学科 講師

専門分野 栄養学



活動の概要

- 【担当科目】「基礎栄養学」「基礎栄養学実験」「応用栄養学」「応用栄養学実習」
- 【研究内容】ハーブサプリメントの安全性評価に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- ・新座市社会福祉協議会主催 会食ふれあい事業調理ボランティアさんのための調理教室 助手(平成21-22年)
- ・新座市内大学公開講座シニアのための調理教室 助手(平成24年)
- ・埼玉県製菓衛生士試験委員(平成27-28年度)

しむら ふみお
志村 二三夫

大学院 人間生活学研究科 食物栄養学専攻 主任 / 教授

人間生活学部 食物栄養学科 教授 / 副学長(研究担当)

専門分野 栄養学、生化学、解剖生理学、食品安全・保健学



活動の概要

- 【担当科目】大学院：「特別研究(修士論文・博士論文指導)」「栄養科学特論Ⅰ」等
学部：「解剖生理学」「解剖生理学実験」「分子栄養学」等
- 【研究内容】食品成分(植物の二次代謝物・亜鉛等)の安全性・有効性ならびに作用メカニズムについて、実験動物、培養細胞、酵素・機能タンパク質を対象に、遺伝子の発現(DNA → RNA → タンパク質)への作用を主な指標として解析する実験研究を実施。ハーブサプリメント・健康食品素材の安全性評価法の開発に関する実験研究、また同素材の安全性・有効性について、講演・執筆活動を通じて普及啓発。

地域連携・社会貢献活動

内閣府消費者委員会臨時委員(新開発食品調査部会委員・同第一調査会座長代理) / 厚生労働省薬事・食品衛生審議会専門委員
東京都食品安全情報評価委員会委員長 / (独)大学改革支援・学位授与機構専門委員
NR・サプリメントアドバイザー認定機構教育・認定委員 等 / 日本栄養・食糧学会代議員 / 日本栄養改善学会評議員
日本臨床栄養学会評議員 / 日本栄養学教育学会評議員 / 日本ポリフェノール学会理事 等。

具体的な活動

特定保健用食品の審査 / 新開発食品の安全性に関する厚生労働行政上の問題に関する検討・評価 / 東京都における食品安全上の諸問題についての情報収集ならびに都民(事業者を含む)への情報提供に関する検討評価 / NR・サプリメントアドバイザーの養成教育・認定(独)大学改革支援・学位授与機構認定専攻科学生の学位審査 等

すだ ゆみこ
須田 有実子

人間生活学部 食物栄養学科 有期助手

専門分野 味覚



活動の概要

- 【担当科目】「食品加工学実習」「臨床栄養学実習Ⅰ」等の助手

そや まりこ
曾矢 麻理子

人間生活学部 食物栄養学科 有期助手

専門分野 食品科学



活動の概要

- 【研究内容】・鳥卵タンパク質からの有用機能開発の研究
・おからの有効利用研究
・地場野菜の有効利用研究

地域連携・社会貢献活動

地域との連携活動を通し、地場野菜の加工食品開発に取り組む。

具体的な活動

新座市産の野菜を活用した加工食品(にんじンドレッシング)を研究開発し産学官連携で地域活性化を目指している。

たかはし まさと
高橋 正人

人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 内科学、内分泌代謝学、スポーツ医学



活動の概要

【担当科目】大学院：「食・健康と栄養の科学」「健康科学演習」「健康科学概論」
学 部：「解剖生理学」「解剖生理学実験」「健康管理概論」「運動プログラム演習」「病態生理学」
【研究内容】内分泌代謝学のアンドロロジー（男性学）に興味があり、それとスポーツ医学を融合した分野の研究している。具体的には、運動・スポーツと薬物・サプリメントの乱用の問題を取り扱っている。現在は日本における薬物乱用状況の調査を行っている。

地域連携・社会貢献活動

健康栄養学科としては地域に貢献するために「十文字学園女子大学シニア健康教室」を行っている。それに対するスポーツ医学的賛助を行っている。これは後期より不定期に4回程度行っている。

具体的な活動

- ・スポーツ医学的賛助として「十文字学園女子大学シニア健康教室」への参画を継続。この事業は大学としても地域に訴える手段として有効なツールであると考えられる。
- ・埼玉西武ライオンズと連携を本学が結ぶことになったが、清原元選手の問題のごとく、スポーツ選手の薬物使用問題やその他スポーツ医学の問題に対するセカンドオピニオンの役割（チームドクターは別途いるので）を果たしたいと考えている。

とくの ゆうこ
徳野 裕子

人間生活学部 健康栄養学科 准教授

専門分野 人と食と環境に関わる健幸分野



活動の概要

【担当科目】「食の科学」「女性と健康」「食と発達」「食と環境」「保健指導カウンセリング論」
【研究内容】・食と環境の結びつきに関する研究 ・エストロゲンと骨との関係について
・体重や身長、体脂肪率を中心とした身体計測からの栄養評価
・健康に貢献できる食品（主に、野菜について）
・スポーツ選手のコンディショニング管理のための栄養教育
・スポーツを行っている子ども達への健康栄養指導

地域連携・社会貢献活動

【COC事業の取組み】「新座市とその周辺地域における農産物の栄養学的側面からの課題解決」と題して、農産物の抗酸化物質を含めた、ビタミン類といったものではない栄養素指標の測定を行っている。また、新座市男女共同参画審議委員も務めており、新座市の住みよい環境づくりにご協力できればと思っている。

具体的な活動

人と食と環境を結ぶ活動を、様々な対象者（幼児、保護者、学生、高齢者、スポーツ選手など）に対して、栄養教育的活動を行ったり、農産物を中心とした栄養価を測定しつつ、その体と環境への影響について研究を行っている。特に、ヤーコンについて着目し、その商品開発にも積極的に行っている。公益社団法人日本栄養士会および公益社団法人日本体育協会共同認定の公認スポーツ栄養士（登録申請中）としても、活発な活動を行っていきたいと思っている。



講義風景

ながお あきひこ
長尾 昭彦

人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 食品生化学



活動の概要

【担当科目】「食品衛生学」「食品衛生学実験」「生化学」「生化学実験」等
【研究内容】・食品に含まれる機能性成分の評価と構造解析
・食品に含まれる栄養・機能性成分の生化学的特性と体内動態（吸収と代謝）

ながさわ のぶえ
長澤 伸江

大学院 人間生活学研究科 食物栄養学専攻 / 人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 公衆栄養（各ライフステージの方の健康と食生活、食育、健康増進、疾病予防）



活動の概要

【担当科目】「公衆栄養学」「公衆栄養学実習」
【研究内容】・地域在住高齢者の健康関連QOLに及ぼす食生活の影響 ・超高齢社会における生活機能低下予防に関する研究
・若年女性の健康と食生活習慣との関連

地域連携・社会貢献活動

【地域行政への協力】新座市健康づくり協議会副会長、新座市食育ネットワーク委員会委員、新座市体育協会理事、東京都墨田区すみだ食育推進会議委員、第10回食育推進全国大会 in すみだ2015 大会実行委員長
【地域への研究成果還元】講演活動：企業社員▶「メタボリックシンドロームの改善のための食生活」、高齢者▶「生活習慣病にならないために～健康は栄養バランスのとれた食事から～」▶「冷えてく身体を作ろう！食事で免疫力UP」、子育て世代▶「食の安全講座～バランスの良い食事を通してできる放射能対策～」▶「学校における食育の推進と食育リーダーの役割」▶「食育基本法と食をめぐる現状と課題」【地域との連携】埼玉県「女性の健康週間」講演会開催、大塚製薬タイアップ企画、東京都豆腐商工組合豆腐フェア参加、第10回食育推進全国大会 in すみだ2015開催、すみだ食育イベント展示参加、すこやか食育エコワーク企画和食調理教室開催
【COC事業】新座市健康まつり骨密度測定担当、食育啓発ポスター作製・クリアファイルデザイン担当、親子deウォーキング参加賞作製

具体的な活動

COC事業「食育で育む管理栄養士の専門性」プロジェクトでは、新座市保健センターと連携し、食物栄養学科の学生が食育啓発ポスターを作製し、保健センター・市役所に掲示。また、新座市民健康まつりに参加。小中学生への食育啓発として、朝ごはんをしっかり食べることを推奨するクリアファイルをデザインした。

学生がデザインしたクリアファイル



なかむら さだこ
中村 禎子

大学院 人間生活学研究科 食物栄養学専攻 / 人間生活学部 食物栄養学科 准教授

専門分野 保健栄養学、プレバイオティクス、難消化性糖質の生理作用と代謝



活動の概要

【担当科目】「臨床実習とその事前事後指導」「食物栄養学概論」「食品機能論」「卒業研究」等
【研究内容】食物繊維や難消化性オリゴ糖などの難消化性糖質は、腸内細菌を介して代謝される。この過程で産生する腸内細菌由来代謝産物を介した生理作用と疾病との関連性を明らかにする。また、新規に開発された難消化性糖質の安全性ならびに生体における消化・吸収、発酵・吸収および代謝のメカニズムを明らかにする。

地域連携・社会貢献活動

日本食物繊維学会 常務理事、編集委員 / 日本栄養・食糧学会 参与
日本栄養改善学会 評議員 / 牛乳乳製品健康科学会議 委員 など

具体的な活動

- 【社会活動】・講演テーマ「腸内細菌と健康とのかかわり」「プレバイオティクス、プロバイオティクスと健康とのかかわり」「食物繊維と健康とのかかわり」
・牛乳・乳製品の栄養学的意義を明らかにし、普及活動を行う。
- 【産学連携共同研究】糖質の生理作用ならびに生体利用性に関する共同研究。

なぐら ひでこ
名倉 秀子

人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 調理科学、給食経営管理学、食文化論



活動の概要

【担当科目】大学院：「食科学特講」「食科学概論」「調理科学特論」
学 部：「給食経営管理論」「給食経営管理論実習」「調理学実習」
【研究内容】・給食の品質管理における栄養評価のためのデータ構築
・給食の生産管理における大量を起因とする調理科学的变化の検討
・給食の栄養・食事管理における献立作成のシステム研究
・埼玉県下の郷土料理、行事食、後世に残したい料理のレシピ化の検討
・埼玉県下の特産品を利用した料理の開発

地域連携・社会貢献活動

【社会貢献活動】厚生労働省管理栄養士国家試験委員 / 埼玉県栄養士会教育研究事業部運営委員 / 日本給食経営管理学会理事および編集委員長 / 日本フードシステム学会理事 / 日本調理科学会編集委員および関東支部役員 / 日本栄養改善学会評議員 / 他
【地域連携】県産米（「彩のかがやき」「彩のきずな」）を用いた料理のレシピ開発と紹介 / 埼玉県学校給食調理コンクール審査委員 / 他

具体的な活動

- 【COC事業】・高齢者福祉施設等の給食サービス改善のための取り組みを行っている。
・地域の食材を使用した栄養価値のある商品の開発を行っている。
- 【その他】・特定給食施設等の外部委託事業について評価方法の検討を行っている。
・学校給食で提供する給食献立を調理実習しながら説明・提案してきた。
・埼玉県の郷土料理や地域で作られている料理について、調査・再現し、講演会にて紹介している。



県産米を活用したオリジナルレシピの調理の様子と表彰式

の だ し お り
野田 詩織

人間生活学部 健康栄養学科 有期助手

専門分野 調理学、栄養学



活動の概要

【担当科目】「調理学実習等」の助手
【研究内容】米粉と薄力粉を用いた食材の含油率の比較

具体的な活動

・一般財団法人日本こんにやく協会：こんにやくを使った新感覚レシピ作成の協力（都道府県の郷土料理：青森・福井・神奈川・京都）（2015年8月）

はやし あやこ
林 綾子

人間生活学部 健康栄養学科 助手

専門分野 調理科学、給食経営管理



活動の概要

【担当科目】健康栄養学科開講「調理学実習」「解剖生理学実験」「食品学実験」「食事計画論」等の実験実習の助手
【研究内容】次世代に伝えたい地域の料理に関する研究。また、調理学実習および給食経営管理論実習における学生教育向上に関わる研究にも携わる。

地域連携・社会貢献活動

・米粉を使った食品の開発：「にっぽん秋の大収穫祭 新宿ピアスタジオ」イベントにてメニューの提供を協力（2013年8月）
・埼玉県米消費拡大推進連絡協議会主催「県産米を活用したオリジナルレシピ2014」にて学生指導、レシピ開発をし、優秀賞を受賞。（2015年2月）
・一般財団法人日本こんにやく協会、「こんにやくを使った新感覚レシピ」制作協力（都道府県の郷土料理：青森・福井・神奈川・京都）（2015年8月）
・埼玉県米消費拡大推進連絡協議会主催「県産米を活用したオリジナルレシピ2015」にて埼玉のお米を使った“お弁当レシピ”の学生指導、レシピ開発をし、2年連続で優秀賞を受賞（2016年2月）

まつもと あきひろ
松本 晃裕

人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 循環器内科学、内科学、心臓リハビリテーション、運動生理学



活動の概要

【担当科目】「医学概論」「病態生理学」「系統別疾病学」「運動生理学実習」
【研究内容】運動中の呼吸循環動態と運動耐容能、スポーツ医学、生活習慣病の運動療法、心臓リハビリテーション

地域連携・社会貢献活動

【COC事業の取組み】十文字フットボールクラブの選手の最大酸素摂取量などの全身持久力測定と、心機能の測定などを行い、アスリートに対するサポート活動を行なっている。
【社会貢献活動】東京体育館 非常勤嘱託医 / 江東区健康センター 非常勤嘱託医
日本心臓リハビリテーション学会評議員

具体的な活動

十文字フットボールクラブ以外にも他大学の駅伝部、ウエートリフティング部選手の最大酸素摂取量などの全身持久力測定と、心機能、呼吸機能、全身の筋肉量の測定などを行い、アスリートに対するサポート活動を行なっている。また地域住民に対しては運動負荷検査などのメディカルチェックにより、個人個人に適した運動処方を行なっている。

やまざき ゆうこ
山崎 優子

人間生活学部 食物栄養学科 講師

専門分野 栄養学



活動の概要

【担当科目】「基礎栄養学」「基礎栄養学実験」「人間生物化学実験」等
【研究内容】・健康食品の安全性・有効性に関する研究
・Cytochrome P450遺伝子発現を指標とする動物試験によるハーブサプリメントの安全性試験評価法の提案
・カバの主要成分カバラクトン（デスメトキシヤンゴニン）の肝毒性に関する研究

地域連携・社会貢献活動

【社会貢献活動】食物繊維学会評議員

具体的な活動

健康食品を安全・安心に利用するための一助として、ハーブサプリメントの安全性試験の評価法の確立を目指している。

やまもと しげる
山本 茂

大学院 人間生活学研究科 食物栄養学専攻 / 人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 国際栄養学



活動の概要

【担当科目】大学院：「国際栄養学」等
学 部：「人間栄養学概論」「食文化論」「栄養学英語」

地域連携・社会貢献活動

ハノイ医科大学栄養学教育 / 日本の学校給食研究協議会理事

具体的な活動

ハノイ医科大学に3年前に同国初の栄養学課程を立ち上げ、日本の栄養学を全面的に輸出している。また、同大学からの学生、教員などを招聘し、栄養学教育について実体験で学んでもらっている。

わだ やすよ
和田 安代

人間生活学部 食物栄養学科 講師

専門分野 臨床栄養学



活動の概要

【担当科目】「臨床栄養学 I・II」「臨床栄養学実習 I」「臨床栄養学実習 II」「総合演習」「食物栄養学演習」
【研究内容】消化器疾患および代謝疾患における栄養管理と病態解明

地域連携・社会貢献活動

COC事業参画（地域志向教育研究の主研究員及びプロジェクト構成員）、地域病院との共同研究実施、小児1型糖尿病病サマーキャンプにスタッフとして参加

具体的な活動



研究に関する議論風景

あべ ふうみ
阿部 史

人間生活学部 生活情報学科 准教授

専門分野 民法、金融法、担保物権法、消費者法



活動の概要

【担当科目】「生活と民法」「消費生活と法律」「ビジネスと法律」「不動産と相続」「家庭と法」
 【研究内容】・担保・保証を中心とした民法の金融法が主な研究テーマ
 ・消費者法的な観点、英米法からの比較、法の交錯分野などに興味つ

地域連携・社会貢献活動

毎年日本人学生達を米国大学へ送り出す米国イリノイ大学小山八郎記念奨学生派遣事業に携わっている。

具体的な活動

大学のゼミ活動では、学内での座学のみならず、さいたま地方裁判所や東京地方裁判所等で裁判傍聴を行うことにより、社会の現場から学ぶ機会を設けている。

かとう よしひろ
加藤 順弘

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 簿記論、財務会計論、租税法、国際税務戦略論



活動の概要

【担当科目】「簿記入門」「会計学入門」「簿記基礎」「簿記基礎演習」「簿記応用」「財務会計論」「BATIC」「暮らしの税金」
 【研究内容】・グループ企業再編と連結納税に関する研究
 ・小規模宅地等課税価格の計算特例に関する研究
 ・組織再編税制における包括否認規定の範囲・適用に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- ・税に関する公開基礎講座
- ・学生対象の日商簿記検定試験受験応援
- ・東京税理士会における一般納税者税務相談応援

具体的な活動

ゼミ活動では通常の演習の他、就職のための日商簿記検定試験や税理士試験等の資格取得応援、上級生・先輩による就活対策、卒業研究のためのフィールドトリップ等も行っている。

こみえ まさひこ
込江 雅彦

人間生活学部 生活情報学科 准教授

専門分野 金融規制、バブル崩壊後の経済政策



活動の概要

【担当科目】「生活と産業」では、日本経済が抱える問題を現代史を振り返りながら、講義している。その中で、新座市で活動している方々に授業で講義していただいている。「インターネットビジネス」では、ネットが色々な形でビジネスに係っている現状を講義し、今後の行方を学生に考えさせている。
 【研究内容】バブル崩壊後の経済政策を日本、アメリカ、EUと比較しながら、金融規制の在り方や金融政策について研究している。

地域連携・社会貢献活動

「生活と産業」という授業の中で、新座市商工会の事務局長を招いて授業を行うなど、地域と経済との関係について授業で取り上げている。また、山梨県職員研修所での講義を行い、地域で活動する職員の教育にも参加した。

具体的な活動

今後、授業では様々な活動をしている方々を招きながら、日本経済が抱えている問題を地域から研究、教育を勧めていくことを考えている。

ふじもと まさのり
藤本 正徳

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 経営学



活動の概要

【担当科目】「企業概論」「企業経営入門」「企業戦略論」「起業論」「企業倫理」
 【研究内容】自身の多様な民間企業経営者としての実務経験に基づき、変化の激しい社会において、新しい価値創造に挑戦する起業家や中堅企業の事例研究を通じて、社会が求めるビジネスモデルの仕組みと今後の経営課題を分析する。

地域連携・社会貢献活動

- ・産業や企業の調査研究をゼミ活動のテーマとして、企業を訪問を通じて企業のニーズの理解と学生の視点からの意見交換を行っている。
- ・社会人同士が、教える・学ぶプラットフォームを提供しているストリートアカデミー株式会社の週末講座に、講師（ワイン入門）として活動し、また学ぶ生徒としても各種社会人教育講座を受講し、若手・中堅社会人の交流に貢献している。

具体的な活動

ゼミ活動では、隔月ごとにテーマを決めて多様な工場・産業施設や企業を訪問し、調査研究するフィールドトリップ活動を行っている。今後は更に、自身の国内外での民間企業経営に携わった経験を生かし、地元企業やビジネスの経営面でのアドバイスが出来る事があれば積極的に協力していきたい。

まつもと あきこ
松本 晃子

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 生活経済、消費者行動、マーケティング



活動の概要

【担当科目】「マーケティング」「生活経済論」「ブランド論」「ファッションビジネス」
 【研究内容】【繊維産業の構造と品質管理】繊維産業に勤務した経験から、ファッション産業の商品開発における問題を、マーケティングと品質管理の両面からアプローチしている。
 【農業振興と地域ブランド】消費者の農産物を自作する意欲と農業振興についての連携。

具体的な活動

- ・平成20年度 関東経済産業局受託事業「地域連携資源活用調査・研究事業調査」
- ・山梨県立大学地域交流センター 地域資源を活かしたビジネス展開プロジェクト

おおとも ゆきこ
大友 由紀子

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 家族社会学、農村社会学



活動の概要

【担当科目】「ライフコースと生活設計」「ライフスタイル論」「生活と情報」「調査と統計」「マーケティングリサーチ」
【研究内容】2012-2015年度科学研究費助成事業（基盤研究（B））研究課題名「女性のキャリア形成からみる農場経営参画を可能にする要因の解明」の研究代表として、南部ドイツ語圏（オーストリア、スイス、バイエルン、南チロル）の女性農業者56名を対象にロングインタビューを実施。男子優先の世代継承を伝統とする家族農業において女性が経営参画するには、継続教育による職業資格取得が有効で、生活技術と経営技術を備えた高度な職業資格の導入が試みられていた。2016年度からは、わが国の女性農業者のキャリア形成と比較研究する。

地域連携・社会貢献活動

高崎市史編さん事業（1989-2005年）、厚生省人口問題研究所第3回世帯動態調査（1994-1997年）、世田谷区教育史編さん事業（1989-1996年）などの行政調査に参加。十文字学園女子大学国際シンポジウム「食と農を担う女性たち」（2014年7月）、同国際ワークショップ「食と農を担う女性たち」（2016年2月）を主宰。2014年度COC事業「観光型農業経営における女性支援」代表。

具体的な活動

生活情報学科ビジネスコースの「演習」と「卒業研究」では、日本人のライフスタイルの変化、特に消費生活の変化をテーマにゼミ指導している。2015年度は、食品スーパーの大手リージョナルチェーンの人事部訪問・店舗利用を通じて、小売業の経営戦略から消費生活の問題を学習した。4年生の卒業研究のテーマも、農山漁村における食文化の継承と変革、日本におけるコーヒーのサードウェーブ、郊外型ショッピングセンターの開業など。ゼミ生には、日商リテールマーケティング検定の資格取得を奨励し、2015年度は3級5名、2級2名の合格者を出した。

かわぐち ひでとし
川口 英俊

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 准教授

専門分野 政治学、日本政治論、比較政治論



活動の概要

【担当科目】「生活と政治行政／ネットと世論」「インターネット社会論」「くらしのなかの日本国憲法」「クリエイティブライティングⅡ」「入門ゼミナール」「総合科目18歳選挙権研究」「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」
【研究内容】・ヨーロッパにおける国民投票
・インターネットと公職選挙法
・18歳選挙権

地域連携・社会貢献活動

十文字学園女子大学・18歳選挙権ワーキンググループ取りまとめとして会合・研究会により学長への報告書をまとめる。大学に総合科目18歳選挙権研究を新設し、埼玉県・新座市の選挙管理委員会、文部科学省からの大学への18歳選挙権取り組み要請に応える形で授業内で埼玉県選挙管理委員会の方をお招きし出前講座を実施予定、18歳選挙権、選挙の意義、模擬投票を行いながら十文字学園女子大学学生に投票を呼びかけるコンテンツを作成していく予定。

たなか しげる
田中 茂

大学院 人間生活学研究科 食物栄養学専攻 / 人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 働く人の安全と健康を守るための研究（労働衛生学）、安全衛生保護具の研究



活動の概要

【担当科目】「インダストリアルハイジーン論Ⅰ・Ⅱ」「公衆衛生学」「健康情報処理演習」
【研究内容】給食調理、食品製造施設等で働く人には、洗剤等による皮膚障害、やけど、切傷、腰痛、CO中毒、熱中症が発生しているものの、多くの管理栄養士養成校では働く人の研究をしていない。本校では管理栄養士の資格取得とともに、働く人の安全と健康を守るために、第一種衛生管理者の資格取得を目指して勉強している。

地域連携・社会貢献活動

埼玉県内に専門家が少ない：地域連携として埼玉県労働局から地域の安全衛生の教育をはじめ、埼玉県医師会（郡医師会を含む）および埼玉県産業保健総合支援センターの委員として、埼玉医科大学（毛呂山）や防衛医科大学（所沢）等が主催する産業医、衛生管理者、化学物質管理者等を対象にした講習会を年間20カ所前後を行っている。

具体的な活動

安全衛生保護具に関係することのみ記載：安全衛生保護具関係書籍の執筆：知っておきたい保護具の話、あなたを守る安全健康保護具ガイド～サービス産業で働く人のために～、化学物質の作業主任者テキスト（有機溶剤、鉛、特定化学物質、酸欠）
厚生労働省：発がん性など有害性の高い化学物質をどのように安全に使用するかを定める委員。
農林水産省：農業従事者が農業散布のときのマスクを正しく装着する必要があるカラベルに記載する内容を定める委員。受託研究として全国で農業散布を指導する県の責任者等にマスクの正しい装着の指導を行ってきた。

たぶさ けいこ
田総 恵子

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授 / 学科長

専門分野 政治学、国際関係論、政治とメディア



活動の概要

【担当科目】「政治とメディア」「異文化コミュニケーション」「地球環境の保全と生活」「国際関係論」
【研究内容】民主主義制度の特徴と問題点、民主主義におけるメディアの役割等。

具体的な活動

政治経済思想分野の文献の翻訳
訳書「ハイエク政治学論集」「フリードリヒ・ハイエク」「自由と市場の経済学」

みやき みちこ
宮城 道子

人間生活学部 人間福祉学科 教授

専門分野 男女共同参画、コミュニティ、女性起業



活動の概要

【担当科目】「現代社会と福祉」「社会調査の基礎」「社会学理論と社会システム」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉実習および実習指導」
【研究内容】個人と集団のかかわりが社会学のテーマの一つです。社会福祉の専門職をめざす学生には、女性や弱者の立場から社会を見る問題意識と想像力を持ってもらいたいと願い、そのために役立つ学びは何かを考えながら、講義をしています。

地域連携・社会貢献活動

自治体の農業委員会、男女共同参画審議会、介護保険事業計画等推進委員会に参加する他、COC事業では学生と一緒に地域を理解する学びを目指しています。

具体的な活動

食アメニティコンクールの審査委員など、地域を支える活動をしている女性たちに注目し、交流しています。

いしの えいち
石野 栄一

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授

専門分野 地域メディア、新聞、NIE (Newspaper in Education)



活動の概要

【担当科目】「情報倫理と法」「地域メディア論」「新聞・雑誌・ミニコミ編集」「広報論」「インタビュー手法」「18歳選挙権」
 【研究内容】・地域におけるメディアの役割、将来像
 ・情報リテラシーの養成 ・NIEの実践と研究

地域連携・社会貢献活動

・広報論受講の学生を取材者にして、新座市で活動する5名の女性にインタビューし、地域学習資料「いいね！に
いざ2016年度版」を発刊した。
 ・埼玉クイズ王の予選会場を本学に誘致し、学内からも学生、教職員の積極的な参加を促した。準備過程で同好
会メンバーが中心になって過去問集を作成する指導に取り組んだ。
 ・留学生ゼミの学生と新座市内の老人施設を訪ね、歌などを通じて交流を図った。

18歳選挙権の施行を前に、
授業で模擬投票に取り組んだ

具体的な活動

・授業やゼミで新聞を積極的に活用することで、メディアリテラシーの養成を進めた。
 ・共通科目の授業で新座市選管、埼玉弁護士会の協力を得て、模擬投票の実施、18歳選挙権の意味など
を学ぶ機会を作った。
 ・埼玉クイズ王の過去問集制作では、問題ごとに解説を試み、学生の埼玉への知識を深めた。問題集は、
予想以上の反響があり希望者全員に配布できなかった。

いすみ なおこ
泉 直子

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 ソフトウェア工学、データベース、検証



活動の概要

【担当科目】「データベース入門・基礎」「ビジネスデータ活用基礎・応用」
 【研究内容】・情報機器の使用実態と生活への影響についての研究
 ・デジタル時代の若者のコミュニティ作りについて

地域連携・社会貢献活動

2005-2014年 東京工業大学 特別研究員
 2012-2014年 埼玉県主催のふるさと支援隊において高齢者から昔話を聞き取り、それを基に絵本を作成し限界
集落の高齢者の活性化の手伝いをしている。
 2015年～ 学生と共に地元、大和田地区の歴史、特に農業の歴史とコミュニティ作りの話など聞く機会があり、
この地区は昔からの文化を形を変えて残すことができていること、若者のコミュニティ作りがう
まくいっている話を聞き交流を図った。

具体的な活動

今後行いたいことは二つ。一つは若者のコミュニティ作りについて、特にデジタル社会の若者コミュニティについて学生とともに考
えていきたい。もう一つは新座地区の昔話に興味がある。

おおにし まさゆき
大西 正行

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授

専門分野 ジャーナリズム



活動の概要

【担当科目】「新聞ジャーナリズム論」「メディア産業論」「広報論」「新聞・雑誌制作基礎・応用」等
 【研究内容】全国紙、地方紙をはじめとする新聞ジャーナリズムを中心にテレビ、雑誌等のマスメディア全般の報
道(社説論調・解説等を含む)を、メディア産業の変容も念頭に置きながら検証、執筆。

地域連携・社会貢献活動

【COC事業の取組み】地域学習テキスト『いいね！にいざ』の制作委員会委員として、本学学生とともに地域を取
材し、同テキストの執筆編集発行に当たる。
 【新座市】新庁舎建設市民検討会議委員として、同市にふさわしい新市庁舎の在り方を探る。

具体的な活動

【地域の異業種交流】埼玉県内の異業種交流組織「彩来会」の一員として、地域経済の活性化やボラ
ンティア活動に加わる。

横浜の「放送ライブラリー」を見学後、
広告の社会的役割を学ぶゼミ生おの ゆうじろう
小野 裕次郎

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 データの分析、データから法則性や規則性等の知識を取り出す。



活動の概要

【担当科目】「プログラミング基礎」「プログラミング応用」「オブジェクト指向プログラミング」
 「システムプログラミング基礎」「システムプログラミング応用」
 【研究内容】数値データや数値で表せない質的データ等を合わせて解析し、知識を抽出します。

地域連携・社会貢献活動

高校に行き、高校生が興味を持てる内容で情報教育の授業を行っている。

具体的な活動

講義内容としては、「結婚報道新聞を作ってみよう」：ワードの機能を使い画像、文章、イラスト等を組み合わせ
スポーツ新聞風の結婚報道新聞を作成します。
 「Scratchを使ったゲーム作成」：Scratchを使ったゲーム作成を通してプログラムとはどのようなものなのかを理解
する。ScratchはアメリカのMITメディアラボが開発したプログラミング環境で、命令ブロックの配置によりプロ
グラムを作成することができる。このゲーム作成により、プログラミングを体験する。

かとう りょうすけ
加藤 亮介

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 講師

専門分野 メディア・リテラシー、映像制作発信を通じたプロジェクト・ベース学習



活動の概要

CG、ウェブ、映像等のメディア・コンテンツ制作系の授業を担当し、研究フィールドとして映像制作発信を通じたプ
ロジェクト・ベース学習(PBL)についての研究を行っている。

地域連携・社会貢献活動

平成24年 関東地区高校放送コンクール(埼玉大会) 審査員
 平成27年 埼玉県「彩の国はたらく情報館」企業映像制作

具体的な活動

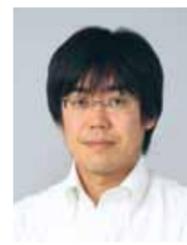
近年は、大学におけるオフィシャル広報番組の定期放送や、埼玉県の企業
PR映像の制作などに力を注ぎ、地域連携制作活動の中での学生の意識変
容や社会人基礎力の伸長に注目している。



番組制作ゼミの様子

かわせ もとひろ
川瀬 基寛

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 准教授

専門分野 教育工学(メディア教育・メディアリテラシー)、
情報デザイン、グラフィックデザイン

活動の概要

【担当科目】「メディアデザイン」「グラフィックデザイン」「情報デザイン論」「映像表現論」「色彩論」
 【研究内容】・SNS時代におけるメディアリテラシー教育の電子教材開発
 ・幼児の安全教育に資するメディア教材の活用
 ・HMD(ヘッドマウントディスプレイ)を利用したVR(ヴァーチャルリアリティ)学習空間とリアルタイムコミュニケーションの開発
 ・一般大学におけるデザイン教育の授業デザイン ・グラフィックデザイン全般

地域連携・社会貢献活動

【デザイン活動】主にデザイン職希望のゼミ生と一緒にデザイン活動をしています。大学内や地域から多数のデザ
イン依頼を受け、積極的に活動しています。
 【ICT教育活動】清瀬市インクルーシブ教育システム構築事業への協力、清瀬市立清明小学校でのタブレットPCを導入した教育方法の改善およびスーパーバイザー
【講 師】教員免許状講習会講師(ICT活用・メディアリテラシー等)、高校生のための校内放送研修会講師等

具体的な活動

・埼玉県男女共同参画課「デートDV防止啓発」広報物企画(ポスターデザイン等) ・新座市人権推進課「成人式配布用デートDV啓発チラシ」(デザイン)
 ・新座市大江戸祭りデザイン協力(配布用バッチデザイン) ・志木市商工会イベント企画協力(ポスターデザイン・パンフレットデザイン)
 ・十文字国際サッカー大会協力(ポスターデザイン・パンフレットデザイン)他にも、新座栄町4丁目活性化プロジェクト、人権啓発・デート
DV 予防ワークショップ、新座駅前における「ふるさと」創生の試みメディアワークプロジェクト～地域教育・情報発信御ために～等

きたはら しゅんいち
北原 俊一

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授

専門分野 コンピュータ、物理学、計算機実験



活動の概要

【担当科目】「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」「宇宙とものなりたち」「Webデザイン基礎」
 【研究内容】・運動の計算機シミュレーション
 ・宇宙初期の物質のようす

地域連携・社会貢献活動

新座市自治憲章条例検討委員

くりはら たかし
栗原 隆史

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 地理情報システム (GIS)、地域分析、情報処理教育



活動の概要

【担当科目】「ハードウェア基礎」「パソコン活用」「コンピュータグラフィックス」「アニメーション制作」
 「プログラミング初級」
 【研究内容】GISを活用した教育機関通学勢力圏モデルに関する研究

地域連携・社会貢献活動

- ・新座市 女性のためのPC講座について (Word) 2012年
- ・新座市 女性のためのPC講座について (Excel) 2013年

さいとう れいこ
齋藤 麗子

健康管理センター センター長 / 教授

専門分野 健康管理、小児保健、喫煙対策、健康教育



活動の概要

【担当科目】・「女性と健康」大人の女性になるためには知っておいてほしい健康情報をオムニバス形式で、医師、栄養士、保健師の立場から授業に取り組んでいる。喫煙や飲酒による本人や次世代への影響、おしゃれによる健康被害、食中毒の予防、食べるということを考え、栄養素について知り、女性ホルモンによる体のリズム、妊娠や避妊について正しく知ることなど、楽しく学習する。
 ・健康管理センターの健康教育として乳がん自己触診講習会を随時開催し乳房モデルを使い実習の実践

地域連携・社会貢献活動

【COC事業の取組み】「新座市の児童生徒の喫煙開始予防に向けた指導者育成」として市内養護教諭への研修会、学校保健委員会で保護者、教員への講習会を実施、作成したDVDとパンフレットを寄贈し児童生徒指導に役立てていただいている。

具体的な活動

- ・小児科関連学会4者協子どもをタバコの害から守る合同委員会委員として全国の児童公園の灰皿等の調査を実施。
- ・厚生労働省健康局がん対策・健康増進課 タバコの健康影響評価委員会委員として子どものタバコ誤飲実防止の提言。
- ・日本禁煙推進医師歯科医師連盟会長、小児禁煙研究会理事、法務省入国管理局視察委員会委員



小児科合同委員会作成の児童公園禁煙ポスターを全国に広めている

しんぎょうち こうじ
新行内 康慈

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 経営工学、信頼性工学



活動の概要

【担当科目】「情報基礎」「ソフトウェア概論」「アルゴリズムとデータ構造」「問題解決手法」
 「文書作成入門」「データ処理入門」等
 【研究内容】・ネットワークシステムの性能評価
 ・ソフトコンピューティング等を活用した最適設計

地域連携・社会貢献活動

ISO/TC69 (統計的方法の適用) / SC6 (測定方法及び測定結果) 国内委員

具体的な活動

各種国際規格のベースとなる、データの取り扱いや統計処理に関するISO規格の原案作成や審議、JIS化の検討などを行う。

すすき ひろたか
鈴木 弘貴

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授

専門分野 グローバルジャーナリズム



活動の概要

【担当科目】「国際マスコミュニケーション論」「グローバルジャーナリズム」等
 【研究内容】一國を越え、トランスナショナルに受容可能なニュース

地域連携・社会貢献活動

東京都広告物審議会委員
 一般向けシンポジウム企画・司会
 「日韓中テレビ制作者フォーラムは歴史問題をどう超えるか〜『基町アパート』をめぐる〜」
 2015年3月21日 (土) 上智大学

たくら あきら
田倉 昭

人間生活学部 生活情報学科 教授 / 学科長

専門分野 ネットワーク、インターネット、セキュリティ、Android



活動の概要

【担当科目】「インターネット」「データ処理入門」「ネットワーク基礎」「ネットワーク設定」
 「Webページとスクリプト」「インターネットとセキュリティ」「サーバ設定」
 【研究内容】通信サービスを表すグローバル状態遷移図から通信主体毎の状態遷移図を導出する研究を行っている。

地域連携・社会貢献活動

モバイル端末を使って「いつでもどこでも誰でも」使うことが可能なアプリ開発を通して、社会貢献を行っている。

具体的な活動

埼玉県の依頼に基づき、「デートDV 啓発アプリ」を Android 上のアプリとして開発し無料公開した。現在、iPhone 上の同アプリを開発中である。

あかま えつこ
赤間 恵都子

人間生活学部 文芸文化学科 教授

専門分野 日本古代文学（平安時代）



活動の概要

- 【担当科目】「日本文学概論」「日本文学史A（古代）」「日本文学の名作」等
 【研究内容】・『枕草子』の研究。特に歴史背景と対照させながら読み解いている。
 ・『蜻蛉日記』などの平安女流文学の研究。
 ・著書に、『枕草子日記的章段の研究』（2009年 三省堂）、
 『歴史読み枕草子—清少納言の挑戦状』（2013年 三省堂）がある。

地域連携・社会貢献活動

- 市民公開講座にて講演。（2014年12月）
- 石川県高等学校教育研究会国語部会にて講演。（2015年6月）
- 古典文学を漫画等の現代メディアを介して普及させる活動。



『マンガで楽しむ古典 枕草子』

具体的な活動

- コミックエッセイ、古典漫画の監修本を出版。
 『本日もいとをかし!! 枕草子』（2014年4月 KADOKAWA）
 『人生はあはれなり… 紫式部日記』（2015年3月 KADOKAWA）
 『マンガで楽しむ古典 枕草子』（2015年8月 ナツメ社）

いけま りよこ
池間 里代子

人間生活学部 語学教育セクター 教授

専門分野 中国文学、日中文化交流、中国語教育



活動の概要

- 【担当科目】「中国語」「中国語検定対策」「留学生のゼミ」「総合科目」
 【研究内容】・『紅樓夢』の文体・日本への影響
 ・近世期日中花卉文化

地域連携・社会貢献活動

- 総合科目「にいざ十文字発世界へ」においてグローバルを体現する授業を展開

メディアコミュニケーション学科4年生の
卒業テーマ発表会を終えて

具体的な活動

- 「にいざ十文字発世界へ」では学生に取材のノウハウを講義するとともに取材対象者の母国を研究、取材後WEBや冊子に編集することを指導した。
- 中国語検定・HSK試験対策を指導した。

いしかわ たかし
石川 敬史

人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 図書館学、図書館文化史



活動の概要

- 【担当科目】「図書の文化」「図書館概論」「図書館サービス概論」「情報サービス演習」等
 【研究内容】戦後日本の公立図書館における館外活動について、地域で生活する住民の視点で移動図書館（自動車文庫）や読書運動など全国各地を調査（科研費「地域と図書館を結んだ戦後移動図書館の理念と成立に関する実証的研究」2013-2015年度）。公立図書館における情報リテラシー支援の在り方に関する研究。

地域連携・社会貢献活動

- 第17回 図書館総合展において「図書館ネットワーク in 新座」と題した出展
- 産学連携・学生主体によるオリジナルブックトラックのプロデュース
- 学生のオススメ図書とPOPを埼玉県内の公立・学校・専門図書館に展示



オリジナルブックトラック

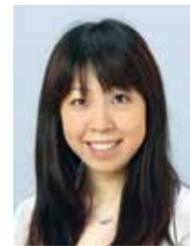
具体的な活動

新座市民総合大学文学部子どもの読書応援学科コーディネーター / 新座市図書館協議会委員 / 和光市図書館協議会委員 / (公社)日本図書館協会中堅ステップアップ研修会 講師(情報リテラシー支援)等 / 公立図書館・大学図書館等の研修会の講師・講座・事業に協力 / 「図書館車の窓」(株式会社林田製作所)に移動図書館に関する記事を連載中。

おちあい まゆ
落合 真裕

人間生活学部 文芸文化学科 講師

専門分野 英文学、イギリス現代演劇、ユーモアと笑い



活動の概要

- 【担当科目】「文芸文化概論」「世界の演劇」「笑いの文化」「外国文化論A」「比較文化論」「海外文学の名作」等
 【研究内容】・イギリス文学作品における笑いユーモアについて
 ・イギリス演劇における笑いユーモアの効果
 ・イギリス現代演劇とイギリステレビドラマにおける笑いユーモア

地域連携・社会貢献活動

恋する大学改革～地域貢献+（プラス）教育改革～プロジェクトメンバー / 日本笑い学会関東支部役員（運営委員）
 日本バーナード・ショー協会役員（運営委員） / 日本英語文化学会大会運営委員

具体的な活動

主に学会、研究会などを通じて、学生のみならず社会人に向けてもイギリス文学におけるユーモアやイギリス流のユーモアに関する研究発表、講演を行っている。また、学生になまの舞台、演劇空間に触れてもらうために学外で劇場見学、演劇関連資料館の見学、演劇鑑賞なども行っている。

かとう あきこ
加藤 暁子

人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 舞台芸術、宝塚研究、情報教育



活動の概要

- 【担当科目】「文芸文化ゼミⅠ」「舞台芸術B」「生活と文化」「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」
 【研究内容】芸術と文化を研究課題。主なテーマは「宝塚研究」

地域連携・社会貢献活動

地域向け、総合芸術を推進すべく公開講座を実施。

具体的な活動

- 青弓社「宝塚イズム」公演評連載（2007年～2016年）
- 少年写真新聞社「給食ニュース」パソコン講座連載（2014年～2016年）
- 学生に舞台芸術に触れる機会を作るため、歌舞伎や狂言、宝塚歌劇や劇団四季の観劇を推進し、引率を行っている。
- その他、学内において、学生が大学生としてより充実した学生生活を送れるよう、学生支援活動も行っている。



宝塚メイクの道具

こばやし みる
小林 実

人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 日本近代文学、翻訳文学史



活動の概要

- 【担当科目】「文芸文化入門」「日本文学史C」「日本と異文化」「日本文学論B」「日本文学研究B」
 日本近代文学（明治～昭和）に関する科目と、日本における異文化について考察する科目が中心。
 【研究内容】・日本におけるロシア文学受容史。特にロシア文学の翻訳家と出版史を研究。

地域連携・社会貢献活動

地域志向教育研究（地域連携創造・支援事業）において、「新座市における地域文化アーカイブズの創造」の研究代表を務める。

具体的な活動

学科の授業「基礎演習」（1年生後期）を利用して、大学周辺地域の風景をもとにしたフォトエッセイ制作を学生に指導している。

シーラクリフ
Sheila Cliffe

人間生活学部 語学教育セクター 教授

専門分野 着物、ファッション



活動の概要

- 【担当科目】「創作ワークショップD」「日常英会話入門」「文化と歴史」等
 【研究内容】・着物の流行、ファッション性とその意味
 ・今後の着物のあり方について
 ・外国における着物文化の受容と広がり等

地域連携・社会貢献活動

- ・着物に関する各種展示会の運営（イギリス、ドバイ等）
- ・日本、イギリス、韓国、ハワイでの着物文化に関する発表、講義を開催
- ・主なメディア出演「エコの作法」（2013年2月 BS朝日）
 「TOKYO FASHION EXPRESS」（2014年9月 BS NHK ワールド）
 「TOKYO EYE」（2015年2月 BS NHK ワールド）
 「毎日新聞」（2016年1月4日付）「PRESIDENT」（2016年3月14号）

よしもとめぐみ
好本 恵

人間生活学部 文芸文化学科 教授

専門分野 音声表現、コミュニケーション



活動の概要

- 【担当科目】「音声表現論」「芸術とことば」「くらしと日本語」「朗読・ナレーション」「放送概論」「女性と文化」等
 【研究内容】アナウンサーとして番組制作に携わってきた経験を生かし、放送を中心としたメディアの中の日本語について考察している。著書に『話しことばの花束』（リヨン社）『ハッピーチャイルドに育てる19の知恵』（NHK出版）『教科書に載った名作～ことばを育てる』（朗読CD・日外アソシエーツ）などがある。

地域連携・社会貢献活動

- ・NHK番組の他、官公庁や新聞社などの主催するシンポジウム、式典、青少年のためのコンサートなどの司会
- ・子どものことばを育てる活動に参画

具体的な活動

新座市民総合大学文学部子どもの読書応援学科講師など。文学作品や絵本、昔話の朗読などを通して、地域の大人と子どもや大学生が共に学び、コミュニケーション能力を磨く場を作っていきたいと考えている。

たけだひろお
武田 比呂男

人間生活学部 文芸文化学科 教授 / 学科長

専門分野 日本古代文学、説話文学、口承文芸、民俗学



活動の概要

- 【担当科目】「文化を考える」「神話・伝承学」「日本の文化」「日本文学論」「日本文学研究」「日本文化研究」等
 【研究内容】・日本の古代における思想と表現との関係について、日本霊異記などの宗教的言説のテキストの生成と儀礼との連関について考察すること
 ・日本近代において民俗学という言説が生成するプロセスと日本の近代文学との連関、および近代文学における民俗的想像力の表現を分析すること
 ・文学作品や伝承にあらわれた環境認識と表現について考察すること

地域連携・社会貢献活動

社会人向け講座で、日本文学、民俗学、神話・伝承学などを講じることで、研究成果を社会へ還元するとともに、社会人教育を支援している。

ひぐちかすたか
樋口 一貴

人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 日本美術史、江戸時代絵画史



活動の概要

- 【担当科目】「芸術と人間」「テーマで触れる芸術」「文学と女性」「女性と文化」「博物館概論」「博物館資料論」
 日本美術の流れと特質、および博物館における美術作品などの資料展示について。
 【研究内容】・円山応挙を中心とする江戸時代絵画史
 ・日本における美術コレクション、鑑賞史の研究

具体的な活動

作品を見ることが一番の勉強になると考え、授業で美術館・博物館への見学を度々行っている。

おがさわら のりこ
小笠原 典子

人間生活学部 語学教育セクター 教授

専門分野 外国人のための日本語教育



活動の概要

【担当科目】大 学：「日本語」「日本語表現技術」「日本語能力試験対策講座」「留学生ゼミ」「総合科目」等
留学生別科：「Jテスト対策講座」「文章表現」「日本文化理解(体験)」
【研究内容】・日本語教授法研究 ・教材研究
・テスト作成・分析 ・面接による日本語力測定

地域連携・社会貢献活動

・「留学生ゼミ」のゼミ生による「元気の里(第2老人福祉センター)」訪問。
・「総合科目」で、新座市及び近隣在住の外国人と、取材を通しての交流。



元気の里で、手話と歌を披露する留学生ゼミの学生

具体的な活動

・「留学生ゼミ」では、授業の一環として「元気の里(第2老人福祉センター)」訪問し、手話付きの歌を披露するなどして、交流の第一歩とした。
・「総合科目」では、新座市及び近隣在住の外国人へのインタビュー、取材を通じ、互いの文化を知り、その成果をWEB、冊子にまとめた。

きゅう しゃおゆん
仇 曉芸

人間生活学部 語学教育セクター 講師

専門分野 中国語教育、日本語教育



活動の概要

【担当科目】「日中通訳(総合科目)」「留学生ゼミ」「日本語」
【研究内容】・中国語の外来語研究
・留学生の日本語の聞き取り

地域連携・社会貢献活動

中国文化を紹介し、日中友好交流の活動に取り組んでいる。留学生と共に作った日本語学習の教材を新座市の関係部門に届け、またスポーツを通して、様々な交流をしている。



具体的な活動

新座市国際交流協会主催のイベントで、「中国の端午節」について講演をし、学生も連れて行った。本学の留学生らと共に作り上げた日本語学習の教材を新座市役所をはじめ、市内の大学など関係部門に配布した。日本人学生と留学生と共にバレーボールを通じて、交流を深めている。

こうご ともみ
向後 朋美

人間生活学部 語学教育セクター 准教授

専門分野 言語学・英語学、ことばのしくみ、英語のしくみ、ことばへの気づき



活動の概要

【担当科目】「ことばのしくみ」「英語学」「ことばへの気づきワークショップ」「英語教科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「教育実習」「演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」

【研究内容】私たちは毎日のように新しい語をつくったり、文を発したりしています。実はこの新しい語や文は、私たちの頭の中に備わっている「きまり」に知らず知らずのうちしたがって生み出されているものなのです。普段はまったく意識されないこの「きまり」とはどのようなものなのかを、実際の言語資料(人間が書いたもの、発話したもの)を集め、分析しています。

具体的な活動

・2012年11月「モチベーションを高める工夫の研究～外国語学習におけるモチベーション～」和光市教育委員会主催教育研究会 一斉授業研究会(外国語部会)(於和光市立第三中学校)講師
・2015年1月「名詞の後置修飾にまつわる小ネタ」志木市教育委員会外国語主任会授業研究会(於志木市宗岡第二中学校)講師

したら ゆうこ
設楽 優子

人間生活学部 語学教育セクター 准教授

専門分野 英語音声学



活動の概要

【2020年大学入試で本格的に実行される教育改革と英語教育の関係】文化多様性がある社会において、小中高大で、生涯通用する創造的な知の力を養うとともに、英語コミュニケーションの訓練をますます充実させなければいけないと思います。
【学習者中心の英語発音指導】母語への気づきを土台とした、学習者中心の外国語学習と発音指導をめざして英語科目や英語音声学を教えています。

地域連携・社会貢献活動

今の小中学校の英語は、すべての英語学習者が海外経験のある生徒のコミュニケーション技能をめざしているようなところがあって大変だと思います。その一方で、英語の発音に自信のない人が昔より増えているようにみえるのは残念です。小中高大連携で改善する一端を担えればと希望しております。

具体的な活動

何歳からでも通じ易い英語を身につけることは可能で、その効率的なお手伝いをするため英語音声学が役立つと考えています。現在の関心事は、ヨーロッパ共通言語参照枠(CEFR)の英単語レベルとフォニックスの関係、Synthesized Phonics(合成フォニックス)、映画の小中高大一般の英語学習利用(映画英語アカデミー学会の活動)等です。

ほしの ゆうこ
星野 祐子

人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 日本語学、コミュニケーション、話しことば



活動の概要

【担当科目】「日本語表現」「日本語学入門」「日本語学A(日本語の歴史)」「日本語学研究A(日本語文法)」等
【研究内容】話し合い場面をデータにしたコミュニケーション研究、論理的な文章の書き方、効果的な話し方・聴き方、身近なメディアと日本語表現、おいしい言語学(グルメ雑誌や菓子のパッケージをデータに、キャッチコピーに用いられるオノマトペや外来語の使用について研究)、ディズニーアニメの日英表現研究

地域連携・社会貢献活動

大学マスコットキャラクター「プラスちゃん」を活用した地域活性化事業、子ども大学しき実行委員、子ども大学にいご講師、市職員向け教養講座講師、高等学校における講演会講師、市職員研修運営補助等。

具体的な活動

プラスちゃんをサポートする「プラスちゃんくらぶ」の学生と共に、地域イベントに参加。地元新座や周辺地域のイベントを盛り上げる活動を行う。講義や講演では、普段意識しない日本語の面白さを伝えることを意識。子ども大学ではオノマトペをテーマにした授業を行う。高校生向けの講演や教養講座では、ディズニーアニメやJPOP、ゆるキャラ?などを取り上げ、日本語の奥深さや表現の楽しさを伝える。



もちつきイベントに参加するプラスちゃん

まつなが しゅういち
松永 修一

人間生活学部 文芸文化学科 教授

専門分野 日本語学、方言学、コミュニティーデザイン



活動の概要

【担当科目】「フィールドスタディー」「言語学入門」「日本語学Ⅱ」「日本語音声学」「キャリアサポート」等
【研究内容】地域言語(方言)、特に東京語、南九州の言語変化とバリエーションについて調査研究を行なっています。

地域連携・社会貢献活動

・南九州における、地域活性化事業サポート
鹿児島県：鹿児島弁検定
宮崎県：宮崎、日南、都城、高原などの地域活動のアドバイザー。ゼミ学生や有志による調査活動やワークショップも毎年行っている。
・埼玉県：ふるさと支援隊として小川町の中山間地のサポート
・小川町七夕まつりの学生とのサポートは5年目

具体的な活動

地域言語研究：九州沖縄の島嶼部山間部を訪れて、地域の方々とのコミュニケーションをとりながら地域文化や言語文化について調査研究を行なっています。また、研究とは別に、さまざまなコミュニティーをつなぎ対話をイノベーションにつなげる仕組みづくりを行なっています。LEGOによるワークショップや地域作りのサポート、イノベーションファシリテーターとして活動しています。

もりた かつゆき
森田 勝之

人間生活学部 語学教育セクター 教授

専門分野



活動の概要

【担当科目】「旧所属メディコミュニケーション学科科目「脳とコミュニケーション」」、「英語 I」「映画・ドラマ英語」
【研究内容】・母語や外国語を聞いたり話すときに脳内でどのようなニューロン(神経細胞)が活動するのかを研究しています。特に外国語の場合、習熟度によって異なる処理スピードの原因を脳波測定で検出しています。また、音楽や絵、物事の好き嫌いや価値判断を、さらに人生の意味を見出すときに活動する脳の部位を研究しています。

地域連携・社会貢献活動

国際テストング研究所において、他大学、大学院所属の教員とともにテストの心理学研究を行っております。

具体的な活動

その具体的な成果をアメリカのカリフォルニア州にあるサンディエゴ州立大学開発の「国際英検 G-TELP」を使っての分析、他の資格試験(TOEFL、TOEIC、英検など)との比較検討を行っております。成果は金星堂出版から G-TELP レベル1～4までの分析として出版しております。



金星堂からの出版物、オリジナル資料

い だ ろ か
飯田 路佳

人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野

運動と健康に関する研究、生涯スポーツにおけるダンスとその指導方法について



活動の概要

【担当科目】高齢者や運動の苦手な人にも気軽に行える、椅子に座ったまま音楽に合わせて楽しく楽しくからだを動かす「チェアダンスムーブメント」を推奨しており、「健康作りの運動A」では、学生達自身が指導できるように養成している。
【研究内容】地域で主に高齢者のダンスや体操の指導をしている方を対象とした研究会における勉強会を主催している経験から、運動を継続する人たちは若く見えるというエビデンスを得ようとしている。

地域連携・社会貢献活動

健康栄養学科の学生やダンス部の学生達と連携を取り、近隣のイベントなどに、ダンス等で盛り上げていく活動を行っている。(これまで活動してきた形は、運動会などオープンスペースでの発表、道路上でのパフォーマンス、公園での参加者を巻き込んだ形式等、場所や時間にこだわらない柔軟性がある。)また地域の高齢者を対象に、ミニ講話と運動するプログラムを行っており好評である。

具体的な活動

ダンスでのイベントへの参加要請があれば、可能な範囲でお引き受けしたい。少しでも多くの方々に、学生の若さと笑顔で元気を伝えたい。また、高齢者や、運動が苦手な方も笑顔になれるような「参加型プログラム」の開発。そして多くの学生達がその手法を身につけ、たくさんの場所に派遣できることが理想。最終的には学生達と共に、地域の方々へ「いきいきとした毎日を送らせる」こころとからだを目指すお手伝いをしたい。



新座市民運動会にて

い し や ま た か ゆ き
石山 隆之

人間生活学部 健康栄養学科 准教授

専門分野

スポーツビジネス、女子サッカー、地域スポーツ、オリンピック



活動の概要

【担当科目】「地域発2020オリンピックパラリンピックムーブメント」「保健体育科教育法」「身体運動」等
【研究内容】例：オリパラ

講義を通してのオリビズム啓蒙が、十文字卒業後に教員や栄養士、幼稚園教諭などの先生の卵たちを通し、次世代の子供たちに受け伝えてゆくプロセスが実践されることを目指していく。教室からフィールドへ。さらに、学生から学生へのリレーへとムーブメントを広げていく。

地域連携・社会貢献活動

一般社団十文字スポーツクラブの活動を通して、地域の子供達にスポーツ指導を行うことや、学生の教育活動の実践の場として活用応用している。また、新座市長杯はじめサッカーの地域フェスティバル開催を通して地域連携を深めている。

具体的な活動

例えば東京オリンピック・パラリンピック成功のために地域スポーツコミュニティが担うべき役割の理解を常にベースに据えながら授業やサッカーの活動を展開していきたい。文部科学省が掲げるスポーツ基本計画に基づき地域社会におけるスポーツに求められる役割と機能の理解と文部科学省スポーツ立国戦略の考えを実践し、検証していく。



なでしこひろば

く ぼ た よ う こ
久保田 葉子

人間生活学部 人間福祉学科 講師

専門分野

ピアノ、音楽表現、音楽アウトリーチ



活動の概要

【担当科目】「保育の表現技術(音楽表現)」「保育の表現技術(ピアノ)」「表現活動概論」

【研究内容】・ピアノによる色彩豊かな音楽表現
・子どもの表現を引き出す実践研究
・音楽アウトリーチの方法と実践
・十文字学園女子大学の学生と創るクラシックコンサートの展開

地域連携・社会貢献活動

・COC事業「ふるさとにいざよーオタムコンサート」(ヴァイオリンとピアノの室内楽と人間福祉学科の学生による手話ソング)

具体的な活動

- ・「東日本大震災のためのチャリティ 絆 講演&コンサート」出演(2012年)
- ・宝くじドリーム館「ランチタイム・コンサート プレミアム・クラシック」出演(2013年)
- ・「グリーグ生誕170年記念演奏会」出演(2013年)
- ・「アルテリッカしんゆり2014 華の歌祭り」出演(2014年)
- ・グリーグ「抒情小品集全曲演奏会」出演と曲目解説一部執筆(2014年)
- ・「モーツァルトVSグリーグ 知られざる2台ピアノの競演」出演(2016年)
- ・保育園・特別支援学校・小中学校・美術館へのアウトリーチ・コンサート



COC事業「ふるさとにいざよーオタムコンサート」
2015.10.3 ふるさと新座館

しみす れいこ
清水 玲子

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野 音楽、リズムあそび、音楽表現、ミュージカル研究、宝塚研究



活動の概要

【担当科目】「音楽」「ピアノ実技奏法」「保育内容の指導法(音楽表現)」「初等音楽科指導法」「ミュージカル論」「宝塚研究」

【研究内容】・ピアノ実技の演奏方法
・新しいリズム遊びの考案や、小学校の音楽教科書研究
・クラシック音楽から童謡や身のまわりの音楽研究 ・ミュージカルや宝塚の音楽歴史研究

地域連携・社会貢献活動

全国各地で幼稚園教諭・保育士・小学校教諭対象の講習会で指導
・茨城県神栖市保育士会講習会
・世界文化社 主催 サマースクール 福岡・大阪・東京 講習会
・志木市 音楽教育協力

具体的な活動

・CD制作・監修・振付・解説を担当。毎年発売。
最新作は、「歌って踊れる運動会ミュージック」CDブック(世界文化社より2016年5月発売)
・朗読ミュージカル「山崎陽子の世界」において、音楽・ピアノ演奏を担当で出演。
(年4～5回 有馬稲子・松島トモ子・安奈淳・日向薫・平みち・光枝明彦氏と共演)

たなや ゆういち
棚谷 祐一

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 准教授

専門分野 作曲・編曲、音楽制作



活動の概要

【担当科目】「サウンドデザイン基礎」「サウンドデザイン応用」「ラジオ番組制作」「音楽表現論」「読書入門」

【研究内容】・作編曲技法の研究と作品への結実化
主としてコンピュータを用いた音楽制作テクノロジー

地域連携・社会貢献活動

COC事業のひとつとして「地域密着型メディアによる情報発信」を主導。本学「十文字ラジオ研究部」によるラジオ番組制作を行い、朝霞市のコミュニティFM局「すまいるFM」で30分番組を再放送を含め週2回のペースで放送している。

具体的な活動

・映画「トテチータ・チキチータ」(2012年/古勝敦 監督) 音楽
・映画「日曜日、ずきは口笛を吹いた」(2014年/古勝敦 監督) 音楽
・国立研究開発法人NICT(情報通信研究機構)の委嘱により、グランフロント大阪での展示「大画面超多視点裸眼立体ディスプレイ」のための音楽を作曲・制作(2014年)
・本学冬季イルミネーション「Jクロスウィンター」点灯式のための音楽を作曲・制作(2015年)
・本学マスコットキャラクター「プラスちゃん」イメージソングの作詞・作曲・編曲・プロデュース(2016年3月現在、進行中)

ひらた ちあき
平田 智秋

人間生活学部 人間発達心理学科 准教授

専門分野 運動の学習と発達、知覚と運動



活動の概要

【担当科目】「身体運動」「心理学実験実習」「健康と運動」「シーズンスポーツ」等
「こころだってからだです」をキーワードに、体育実技と実験心理を担当しています。

【研究内容】3次元動作解析を用いて、ブランコ漕ぎを題材に「道具を使った周期運動」の仕組みを研究しています。

具体的な活動

・子ども大学わこう講師
平成24年度「12歳までに身につけたい運動能力 それはなに？それはなぜ？」
平成25年度「すべては動きから始まる ～まずは身体を動かそう～」
平成26年度「樹林公園の探検にフル回転～あたま・からだ・なかま～」
平成27年度「体を動かせば気持ちも動く～友だちをたくさんつくらう～」
・大学体育スノーボード研究会事務局



「新座市ロードレース2016」
受講生22名全員完走。うち5名は入賞しました

具体的な活動

2016年には「健康と運動」という授業で受講生全員と新座市ロードレースに参加しました。

みやの あまね
宮野 周

人間生活学部 幼児教育学科 准教授

専門分野 教科教育学、美術教育



活動の概要

【担当科目】「造形基礎Ⅱ(考えて表現)」「保育内容の指導法(造形表現)」「初等図画工作科教育」「図画工作」「アート教育論」

地域連携・社会貢献活動

・COC事業 子ども元気プロジェクト in 十文字学園女子大附属幼稚園
造形遊びプロジェクト 土粘土遊び
・幼児造形教育研究会夏の研修会講師
・さんもっくの会講師



粘土で遊ぶ子どもと一緒に活動する学生の様子

具体的な活動

・「子ども元気プロジェクト」(COC事業)では、大学が持つ知的資源を活用し、子どもの育ちや保護者の子ども理解を豊かにする場の提供として造形遊びに関する研究プロジェクト：土粘土遊びをゼミの学生とともに十文字学園附属幼稚園にて実施した。
本プロジェクトの成果は日本発育発達学会第14回大会(於神戸大学百記念館)にてポスター発表(共同)を行った。

やぶざき しんいちろう
薮崎 伸一郎

人間生活学部 幼児教育学科 講師

専門分野 声楽、幼児音楽



活動の概要

【担当科目】「音楽基礎Ⅰ(歌唱法)」「音楽基礎Ⅱ(ピアノ基礎技術)」「音楽基礎Ⅲ(楽器演奏)」「歌唱演習」

【研究内容】・声楽演奏の実践と作品研究
・保育者の子どものうたに関する認識について
・子どもの歌の表現法について
・声楽における呼吸法、発声法について

地域連携・社会貢献活動

・保育園・幼稚園における出張コンサート(アウトリーチ活動)
【COC事業の取組み】
・子ども元気プロジェクト2015



子ども元気プロジェクト2015
(音楽あそび)の様子

具体的な活動

・2015年度は、COC事業の取組みとして、附属幼稚園に於いて、子育て支援プロジェクト「子ども元気プロジェクト2015」を実施した。このプロジェクトは、大学の知的資源を活用し、子どもの育ちを豊かにする機会を提供することで、子ども、保護者、保育者を目指す学生の育ちを検討することを目的に実施した。研究成果は、各種学会等での発表を通して社会還元できるように努めている。

わたなべ たかえ
渡邊 孝枝

人間生活学部 幼児教育学科 助教

専門分野 幼児の身体表現、舞踊教育学



活動の概要

【担当科目】「保育内容の指導法(身体表現)」「体育基礎Ⅱ(身体表現)」「身体表現論」等

【研究内容】・幼児の身体表現指導(擬音語・擬態語を中心とした教諭による言葉かけの研究等)
・身体表現活動におけるコミュニケーションの特徴
・身体表現活動と子どもの育ち/保育者の学び

地域連携・社会貢献活動

・神奈川県体操協会 神奈川体力づくり体操連盟 指導者講習会 講師(平成22年)
・COC事業 乳幼児を子育て中の保育者が行うピア・サポートとしての子育て支援事業「+(プラス)ママの子育てサロン」開催と有効性の検討(平成26年～)
・練馬区立幼稚園教育会講師(平成27年、研究主題「心豊かな幼児の育成を目指して-表現活動を楽しむ指導の工夫-」)

具体的な活動

日常生活の中で観察したこと、また絵本などの知識から想像したことをもとに、幼児が様々な対象になりきり、生き生きと身体表現活動できるよう、指導、援助について研究を行っています。指導が難しいと捉えられることの多い身体表現活動ですが、実際の保育現場での支援や、現職の先生方への講演等を通じて、その楽しさや教育的な意義を伝えていけるよう、「実践-教育-研究」の循環を大切に活動しています。